

3. 生産国における情報の収集：ミャンマー

3.1 林業セクターの概要

3.1.1 森林資源

(1) 森林分布と植生

2018年にミャンマーがUNFCCCに提出したFRLレポート²³によると、ミャンマーの総面積は、68,248,983 haで、南北に長く起伏に富んだ地形である。丘陵地帯が広がる北西部はインド、西の沿岸部はバングラデシュ、高原地帯が広がる東から北東部はラオスと中国、南東の高原地帯から沿岸部にかけてはタイに接し、南西はベンガル湾、アンダマン海に面する。また、国土の中央部は中央平原と呼ばれる平野が広がっている。同報告書では、ミャンマーの森林定義は面積0.5ha以上、樹高5m以上、樹冠被覆10%以上と定め、2015年時点におけるミャンマーの森林被覆について、29,561,717 haで、国土の44.13%を占めるとした。図3.1にミャンマーの森林分布を示す。

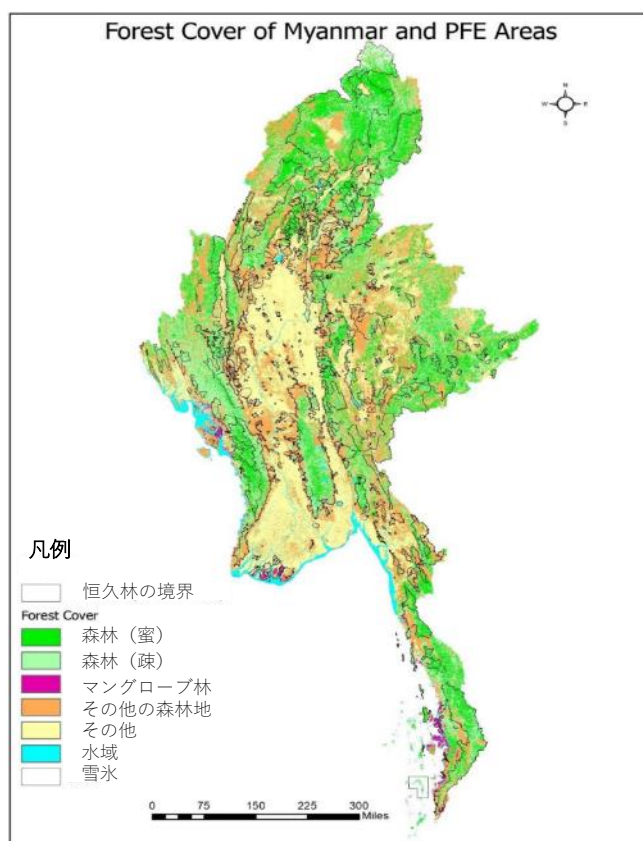


図 3.1 ミャンマーの森林分布

出典：Forest Reference Level (FRL) of Myanmar²³

ミャンマーの気候は、標高によって、亜高山性気候、亜熱帯性気候、熱帯性モンスーン気候に大別され、それぞれの気候帯及び降雨量に適した高地常緑林、常緑林、混交落葉林、乾燥林、落葉

²³ Forest Reference Level (FRL) of Myanmar (MONREC, 2018)

https://redd.unfccc.int/files/revised-myanmar_frl_submission_to_unfccc_webposted.pdf

フタバガキ科林、海岸・湿地林等が分布している。表 3.1 にミャンマーの植生を、図 3.2 にミャンマーの植生分布図を示す。

表 3.1 ミャンマーの植生

国家森林調査 現地指針 (1985) 森林 分類との対応	分布地域・概要	年間 降水量 (mm)	出現種
常緑林 (大木) 常緑林 竹林 (劣化林)	Tanintharyi 地域及び年間降雨量の多い低地	2,500-4,000	南部地域：フタバガキ科 (<i>Dipterocarpus</i> , <i>Hopea</i> , <i>Shorea</i> , <i>Parashorea</i> ,) 北部地域：センダン科 (<i>Cedrela</i> , <i>Chukrasia</i> , <i>Dysoxylum</i>)
マングローブ マングローブ (高木)	Irrawaddy 地域及び他の沿岸地域の潮汐林 (Tidal Forest) 内	>3,500	クマツヅラ科 (<i>Avicennia</i>)、ヒルギ科 (<i>Bruguiera</i> , <i>Rhizophora</i>)、ミソハギ科 (<i>Sonneratia</i>)、ヤシ科 (<i>Nypa</i>)、アオイ科 (<i>Heritiera</i>)
湿地林 常緑河岸林	内陸部及び河川や淡水がある沿岸部	>3,500 2,500-4,000	ミソハギ科 (<i>Lagerstroemia</i>)、センダン科 (<i>Amoora</i>)、マメ科 (<i>Xylia</i>)、サガリバナ科 (<i>Barringtonia</i>)
混交落葉樹林 (低地、高地、 (湿潤 / 乾燥))	中央乾燥地域北部と南部、Shan hills 低地部、アラカン山脈、Chin hills、バゴ山脈	1,250-2,500	チークが特徴的な植生 シソ科 (<i>Tectona grandis</i> , <i>Gmelina arborea</i>)、マメ科 (<i>Xylia xylocarpa</i> , <i>Pterocarpus macrocarpus</i> , <i>Millettia pendula</i>)
フタバガキ林 (indaing, 高木) フタバガキ林 (indaing, 低木)	砂質や礫質土壌地域、特に中央乾燥地域の北部溪谷の沖積土壌	900-1,250	フタバガキ科 (<i>D.tuberculatus</i> , <i>obtusifolius</i> , <i>turbinatus</i> , <i>alatus</i>) より乾燥した地域：フタバガキ科 (<i>D.tuberculatu</i> , <i>Pentacme</i>)、コミカンソウ科 (<i>Emblica</i>)、その他
山地林 (乾燥)	乾燥斜面、尾根沿い	>3,000	マメ科 (<i>Xylia xylocarpa</i> , <i>Pterocarpus</i>)、アカネ科 (<i>Andina</i>)、フタバガキ科 (<i>Shorea oblongifolia</i>)、ウルシ科 (<i>Spondias</i>)、シソ科 (<i>Tectona hamiltoniana</i> , <i>Vitex</i>)、シクンシ科 (<i>Terminalia</i>)
乾燥林 (Than-Dahat) 乾燥林 (thorn: 棘) 乾燥林 (aukchinsa - thinwin)	乾燥度合いによって優占種が異なる中部乾燥地域、山のふもと、シャン州の低山	<900	Than-Dahat 林：シクンシ科 (<i>Terminalia oliveri</i>)、フタバガキ科 (<i>Tectona hamiltoniana</i> ,) Te scrub 林：カキノキ科 (<i>Diospyros burmanica</i>)、マメ科 (<i>Dalbergia</i> , <i>Acacia catechu</i>)、ミカン科 (<i>Limonia</i>)、クロウメモドキ科 (<i>Zizyphus</i>) Sha thorn 林と低木：マメ科 (<i>Acacia catechu</i> , <i>A. leucocephala</i>)、シソ科 (<i>Tectona hamiltoniana</i>)、ミカン科 (<i>Limonia</i>)、クロウメモドキ科 (<i>Zizyphus</i>)、クスノキ科 (<i>Cassia</i>)
浜辺砂丘林	Rhakine と沿岸部、Ayeyarwaddy デルタ海岸	>3,500	ヒルギ科 (<i>Rhizophora apiculata</i> , <i>Bruguiera gymnorhiza</i>)、アオイ科 (<i>Heritiera fomes</i>)
常緑山地林	Kachin 州の溪谷上部や低山、Naga 山脈、Chindwin 溪谷上部等の豊富な降雨、霧、雲や湿った土壌のある地域	>3,000	ブナ科 (<i>Quercus</i> , <i>Castanopsis</i>)、モクレン科 (<i>Magnolia</i> , <i>Fraxinus</i>)、ニレ科 (<i>Celtis</i>) 等の温帯種とフタバガキ科 (<i>Dipterocarpus</i>)、シクンシ科 (<i>Terminalia</i>)、アオイ科 (<i>Sterculia</i>)、ユキ科 (<i>Engelhardtia</i>)、クワ科 (<i>Ficus</i>) 等の熱帯種が混交し層を形成。
常緑山地林	冬季の低温が熱帯種の成長を制限す	>3,000	ブナ科 (<i>Quercus</i> , <i>Castanopsis</i>)、モクレン科 (<i>Magnolia</i> , <i>Fraxinus</i>)、ムクロジ科 (<i>Acer</i>)、

	る山岳斜面や山頂		カバノキ科 (<i>Alnus</i>)、ニレ科 (<i>Ulmus</i>)、バラ科 (<i>Prunu, Pyrus</i>)、ヤナギ科 (<i>Salix</i>)、マキ科 (<i>Podocarpus</i>) だが、マメ科 (<i>Bauhinia</i>)、クルミ科 (<i>Engelhardtia</i>)、ミソハギ科 (<i>Lagerstroemia</i>)、クワ科 (<i>Ficus</i>)、クスノキ科 (<i>Cinnamomon</i>)、等の熱帯種も出現。
山地林 (乾燥)	火災や伐開を受ける乾燥斜面や尾根は、落葉樹が優占する常緑種と混交で、サバンナ風植生やシダ類があるとマツやオーク等がまばらに分布	<3,000	ブナ科 (<i>Quercus incana</i>)、ツツジ科 (<i>Rhododendron arborea</i>)、ツバキ科 (<i>Schima wallichii</i>)、マツ科 (<i>Pinus keysia</i>)、アオイ科 (<i>Kydia</i>)
山地林 (マツ)	標高が 1350m～2450m の間の Shan 州、Chin 山地、僅かにアラカン山脈	>3,000	優占種は カシヤマツ (<i>pinus keysia</i>)、樹冠が開けた純林だが、低木の広葉樹林ブナ科 (<i>Quercus griffithi, Q. incana, Q. serrata</i>)、一部地域ではツツジ科 (<i>Rhododendron maximum</i>)、カバノキ科 (<i>Alnus nepalensis</i>) (Kachin 州) と混交することもある。

出典：Forest Reference Level (FRL) of Myanmar²³



図 3.2 ミャンマーの植生タイプ

出典：A Checklist of the Trees, Shrubs, Herbs, and Climbers of Myanmar (Revised from the original works by J. H. Lacey, R. Rodger, H. G. Hundley, and U Chit Ko Ko on the "List of Trees, Shrubs, Herbs and Principal Climbers, etc. Recorded from Burma")

(2) 土地分類上の森林

憲法（2008年）37条1項では、国家は、国内のすべての土地及びその土地が有する資源の所有者であるという旨が規定されている。このため、基本的にミャンマーの森林は全て国家に帰属している。

国家土地政策（2016年）2章13条では、国土を農地、森林地、その他の土地に大別している。さらに、森林地については、恒久林（Permanent Forest Estate:PFE）として定められる土地を指すとしている。ただし恒久林については、この定義を定める公式文書はない。森林局によると、森林法が定める保全林（Reserved Forest:RF）、保護公有林（Public Protected Forest : PPF）、生物多様性保全と保護区法が定める保護区（Protected Area : PA）を総称して恒久林と呼んでいる。

2015年時点においてミャンマーの森林被覆は44.13%である。一方、恒久林が国土に占める割合は2020年12月時点で31.64%（保全林17.77%、保護公有林7.79%、保護区6.08%）である。植生は森林だが、土地分類上は農地もしくはその他の土地として分類されている森林は、森林法の中で、「森林に覆われた土地」と表現されている。表3.2に、ミャンマーの土地分類上の森林を整理した。

表 3.2 ミャンマーの土地分類上の森林

植生	土地分類	細分類
森林	恒久林（森林地）	保全林（RF） 保護公有林（PPF） 保護区（PA）
	農地もしくはその他の土地	森林に覆われた土地

出典：国家土地政策、森林法を基に調査団作成

3.1.2 木材生産と加工

(1) 木材生産

天然資源環境保全省がミャンマーの森林減少と森林劣化を分析した報告書²⁴では、過剰な木材生産を森林減少の原因の1つとして挙げている。ミャンマー政府は木材の過剰な伐採を抑制するため、2014年に原木の輸出を禁止し、2016年から2017年の1年間、全国の木材伐採を禁止した。また、チークの特産地であるバゴ山地においては2016年から2025年の10年間の木材の伐採停止措置がとられている。さらに、森林局が定める年間許容伐採量（AAC）に対して、持続可能な水準を維持していくために、実際の伐採量はチークでAACの55%以下、チーク以外の広葉樹は33%以下に設定するとした。こうした取り組みを受けて、ミャンマーの木材生産量は2014年以降、急激に減少している。チーク及び広葉樹の年間許容伐採量と実際の伐採量の推移を図3.3と図3.4に示す。なお、図3.3と図3.4では、実際の搬出量が、AACを超えている年がある。ミャンマー政府によると、AACに基づく通常の伐採以外に、道路建設やダム開発等の、政府の開発プロジェクトのために生じる伐採やミャンマー政府の財政調整のために行われる伐採がある。こうした伐採が多い年は、実際の木材搬出量がAACを超えることがあるとのことである。

²⁴ Drivers of deforestation and forest degradation in Myanmar (MONREC, 2017)
<http://www.myanmar-redd.org/wp-content/uploads/2018/02/Myanmar-Drivers-Report-final.pdf>

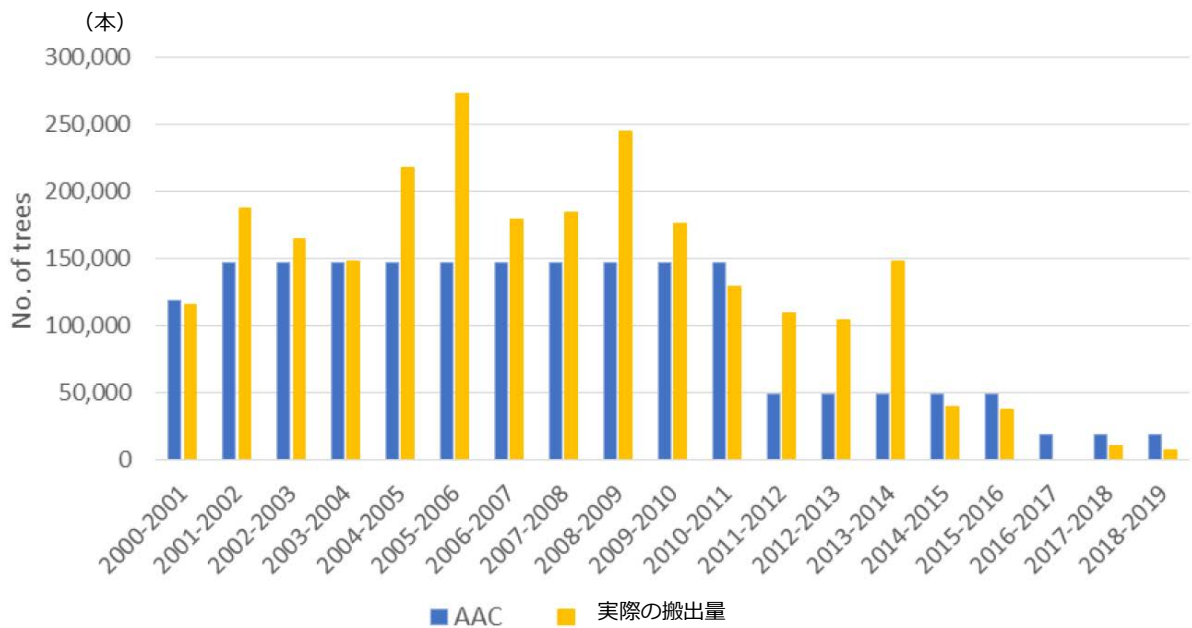


図 3.3 チークの伐採本数の推移

出典：Forestry in Myanmar²⁵

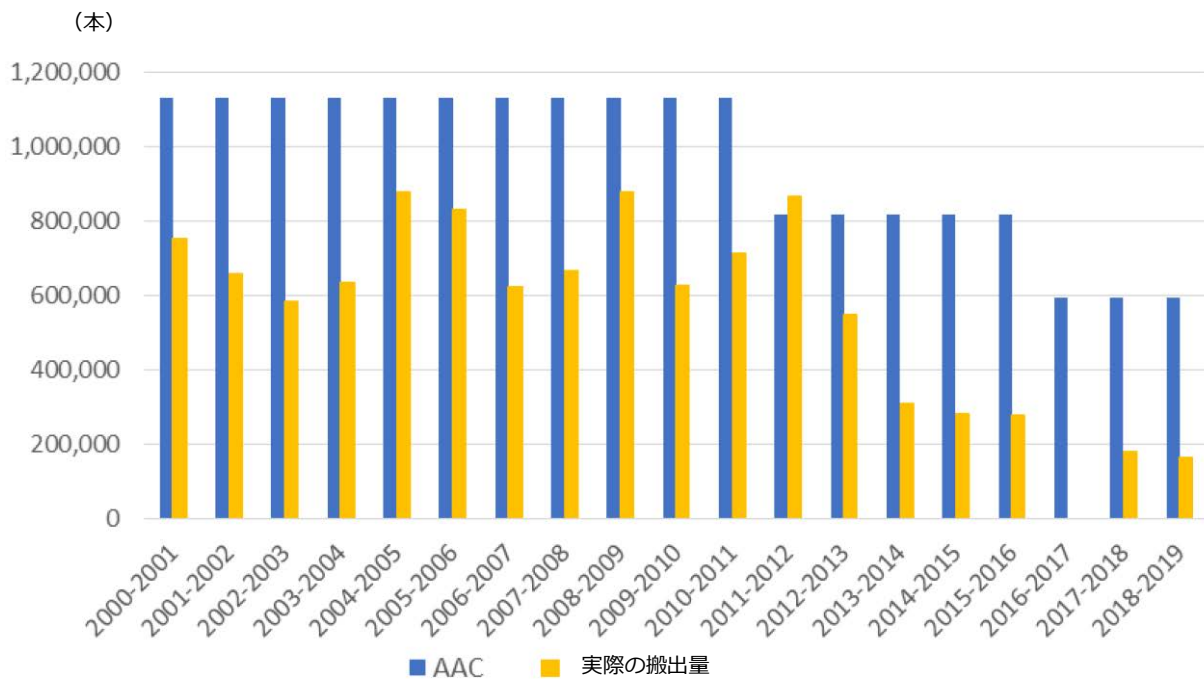


図 3.4 チーク以外の広葉樹の伐採本数の推移

出典：Forestry in Myanmar²⁵

2020年時点におけるミャンマーの主要な木材生産地は、北西部に位置するサガイン地方、マンダレー地方、マグウェー地方となっている。2015年まではバゴ地方も主要な木材生産地であったが、2016年から2025年の10年間の伐採禁止措置がとられているため、2020年現在は生産量が大幅に縮小されている。

²⁵ Forestry in Myanmar 2020 (森林局, 2020)

[https://www.forestdepartment.gov.mm/sites/default/files/Documents/Forestry in Myanmar 2020 0.pdf](https://www.forestdepartment.gov.mm/sites/default/files/Documents/Forestry%20in%20Myanmar%202020_0.pdf)

ミャンマーでは、恒久林内でのミャンマー式択伐システム（Myanmar Selection System:MSS）による木材生産が主要な木材伐採と搬出活動であり、これ以外にコミュニティフォレスト、植林、土地利用転換からの木材搬出、押収された違法伐採木材、輸入木材等が木材供給源となる。以下に、木材供給源別の木材生産状況を整理した。

1) 恒久林内での天然林施業

ミャンマー全土には、68ヶ所の森林局の地区事務所がある。各地区事務所が管理する恒久林は、森林管理ユニット（Forest Management Unit:FMU）と呼ばれる。森林局は、FMUの管理計画として、地区森林管理計画（District Forest Management Plan:DFMP）と呼ばれる10年間の地区の森林管理計画を策定している（現在のDFMPは2016-2026）。

このFMU及びDFMPは、生産林作業部門、植林作業部門、地域需要/コミュニティフォレスト作業部門、水源林作業部門、非木材林産物作業部門、保護区作業部門及び特別作業部門の7つの部門で構成されている。このうち生産林作業部門が、事前の森林調査情報に基づいて設定された年間許容伐採量（Annual allowable Cut:AAC）に従ってミャンマー式択伐法による持続可能な木材の伐採・搬出が行われる部門である。図3.5にDFMPの構成とAACの設定の位置づけを示す。

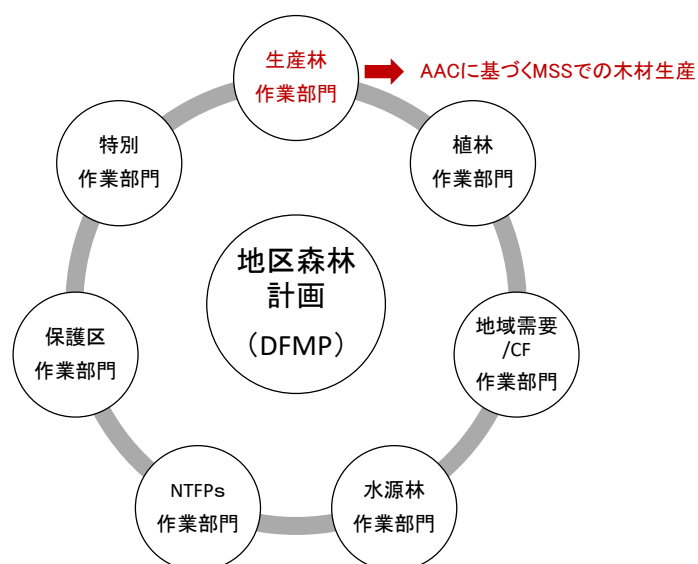


図 3.5 DFMP の構成と AAC の設定

出典：森林局聞き取り結果を基に調査団作成

森林局とミャンマー木材公社（Myanmar Timber Enterprise : MTE）は、DFMPとAACに基づいて、毎年、その年の伐採木や保全種、伐採区画について協議を行う。合意に達すると、ミャンマー木材公社は年間伐採計画（Annual Harvest Plan:AHP）を作成して、天然資源環境保全省に提出する。こうした計画に基づいて、天然資源環境保全省と森林局によって木材の伐採と搬出の許可が発行され、ミャンマー木材公社によって木材の伐採と搬出が実施される。

2) コミュニティフォレスト

ミャンマーのコミュニティフォレストは、地域のコミュニティに対して、森林地とその森林に成立する樹木の所有権を当初30年間（延長可能）付与する仕組みとなっている。ミャンマーの森林マスタープラン（2000-2030）では、2030年までにコミュニティフォレストを227万エーカーま

で拡大させることを目標としている。なお、図 3.6 に示すとおり、2019 年 12 月時点でのコミュニティフォレスト登録面積は約 71 万エーカーであり、2015 年以降で登録面積は急増している。

コミュニティフォレストにおける木材生産は地域での利用・消費を主な目的とされ、販売収益等を目的とした木材生産は許可されていなかった。しかし、2018 年に改訂された森林法及び 2016 年と 2019 年に改正されたコミュニティフォレスト指示書では、販売収益を目的としたコミュニティフォレスト活動及び、コミュニティフォレスト管理下で生産された木材の輸出が可能であると明記されている。2020 年時点では、まだ、コミュニティフォレストから搬出された木材の輸出記録は無いが、コミュニティフォレストは将来的に木材輸出の供給源の 1 つとなる可能性がある。

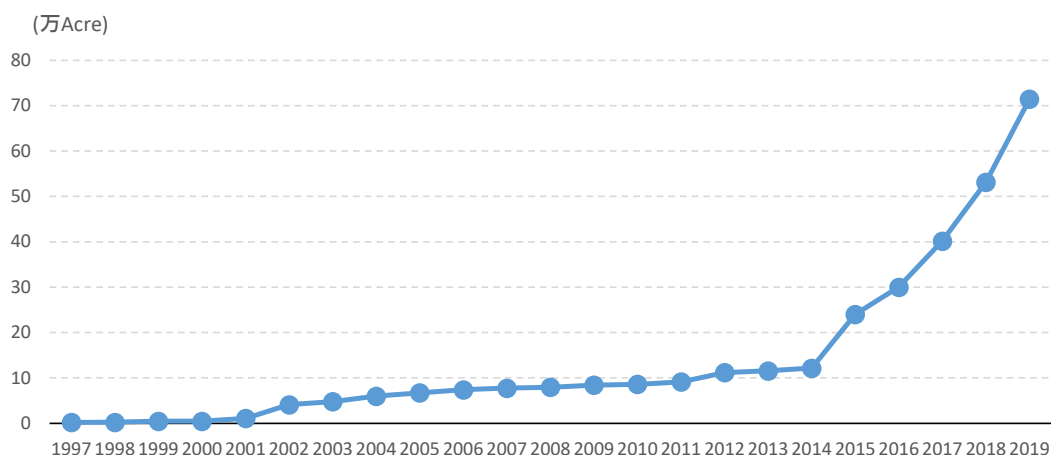


図 3.6 ミャンマーにおけるコミュニティフォレスト登録面積の推移

出典：Forestry in Myanmar 2020²⁵

3) 植林

ミャンマーでは 1856 年より小規模な植林が行われており、1941 年には 47,167ha の植林実績が記録されている。大規模な植林は 1980 年から開始され、現在は年間およそ 6,000ha の植林が行われている。2020 年時点で、ミャンマーでは約 121 万 ha の植林地があり、このうち 93 万 ha は国営の植林地である。また、28 万 ha は 2006 年より始まった、企業等による産業植林である。植林樹種について、国営の植林地ではチークが全体の 5 割以上を占める。一方で企業の産業植林等における植林地では早生樹種等が 6 割以上を占め、チークは 2 割程度である。表 3.3 にミャンマーの植林樹種を示す。

表 3.3 ミャンマーの主な植林樹種

名称	名称 (学名)
在来樹種	チーク (<i>Tectona grandis</i>) ピンカド (<i>Xylia xylocarpa</i>) カリン (<i>Pterocarpus indicus</i>)
早生樹種	ユーカリ (<i>Eucalyptus</i> spp.) アカシア (<i>Acacia Mangium</i>) マツ類 (<i>Pinus</i> spp.)
マングローブ樹種	オヒルギ (<i>Bruguiera sexangula</i>) ヤエヤマヒルギ (<i>Rhizophora mucronata</i>) フタバナヒルギ (<i>Rhizophora apiculata</i>) スンドリ (<i>Heritiera fomes</i>)

出典：森林局聞き取り

2018年より国営の植林地において、樹齢30年生以上の植林木の伐採が許可され、植林地からの木材搬出が始まった。ミャンマーでは、2014年に原木の輸出が禁止されたが、2019年に天然資源環境保全省から発出された通達レターNo.80/2019にて、国営及び民有の植林地から搬出された木材は、原木での輸出が許可されるようになった。2020年12月時点では、2018年から2019年に国営のチーク植林地にて、ミャンマー木材公社によって伐採され、搬出された原木の一部が、ミャンマー国内の民間企業に払い下げられた。森林局によると、これらの原木は、現在輸出に向けた手続きが進められている。

4) 土地利用転換からの木材搬出

土地利用の転換は、恒久林以外の農地やその他土地の、森林に覆われた土地でも実施される。このため、搬出される木材は、上述1)で述べた森林局が設定する年間許容伐採量(AAC)とは別に伐採が行われる。土地利用の転換に伴う伐採については、森林法12条によって、天然資源環境保全省の承認を受ける必要があるとされている。この承認に基づいて、森林局は開発エリア内の立木の本数等を記録する。ミャンマー木材公社は天然資源環境保全省と森林局の指導の下で、森林局が記録した木材の伐採を行う。なお、ミャンマーでは2017年に天然資源環境保全省が通達レターNo.61/2017を発出し、土地利用転換に伴って生産された木材は、国内での利用に限るとして、海外への輸出を禁止した。

5) 押収された違法伐採木材

2010年以降にミャンマー政府が押収した違法伐採木材量の推移を図3.7に示す。毎年、5万トン程度の木材が押収されている。押収された違法伐採木材は、2016年に天然資源環境保全省が発出した通達レターNo.1765/2016にて、輸出用木材とすることが禁止された。



※ミャンマーは会計年度を2018年に4-3月から10-9月に変更した。このため、2017年度までは旧会計年度(4-3月)、2018年 mini は2018年4月-9月、2019年度が2018年10月から2019年9月までとなっている。

図 3.7 ミャンマー政府が押収した違法伐採木材量

出典：天然資源環境保全省ウェブサイト²⁶ (天然資源環境保全省、2021年1月アクセス)

²⁶ 天然資源環境保全省ウェブサイト
<http://monrec.gov.mm/>

6) 在庫木材

ミャンマーは、2014年以降、天然資源環境省の通達によって、輸出用木材に関する様々な規定を定めた(参考 3.4.3 表 3.13)。一方、これらの規定が定められる前に伐採されたチークや広葉樹等の木材が、在庫木材として現在もミャンマー国内に蓄積されている。2020年12月時点で、ミャンマー木材公社の貯木場にある木材の在庫は、チークが54,400トン、広葉樹が314,547トンとなっている。また、ミャンマー木材公社以外の民間企業も木材在庫を持っている。これらの在庫木材は、現在の輸出基準に合致していれば輸出が可能である。

7) 輸入木材

ミャンマーは、木質パルプや板紙等を中心とした木材関連製品の輸入も行っている。輸入木材製品を加工して再輸出することも可能であるが、こうした木材の輸入は企業によって行われるため、森林局やミャンマー木材公社による詳細なサプライチェーンの把握はされていない。このため、国内で生産された木材と輸入木材の分別システム、流通の把握が課題となっている。

(2) 木材加工

ミャンマーの国内の木材加工施設の推移を図 3.8 に示す。この図 3.8 に示す木材加工施設は、国営(ミャンマー木材公社)と民営の木材加工施設の合計値である。2014年以降、Domestic industrial Mills の数が急激に減少している。Domestic industrial Mills に該当するのは民営の家具等の木材の付加価値製品を生産する工場が多く、木材の伐採・搬出量が減少し、木材供給が減ったこと、違法伐採木材の国内での流通の取り締まりが厳しくなったこと等が、これらの工場数が減った要因として挙げられている。なお、2020年時点ではミャンマー木材公社の所有する国営の木材加工施設は84ヶ所(製材所65ヶ所、家具・半製品工場19カ所)で、うち、43ヶ所は稼働を停止している。

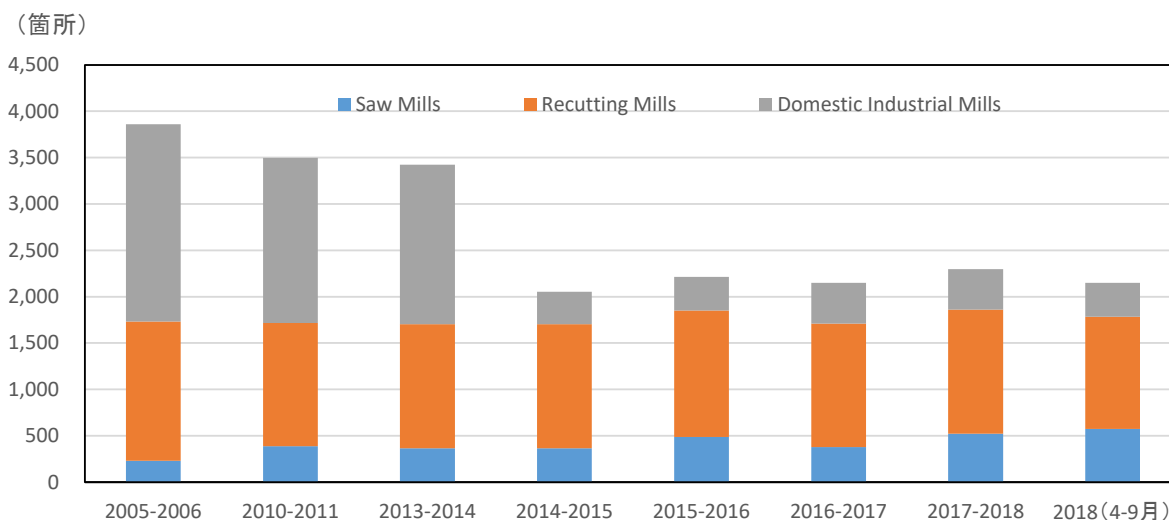


図 3.8 ミャンマー木材加工工場数の推移

出典：ミャンマー農業統計(2008-2009～2017-2018)²⁷

²⁷ Myanmar Agricultural Statistics(2008-2009 to 2017-2018) (Ministry of Planning and financ, 2019)
<https://www.csostat.gov.mm/PublicationAndRelease/MyanAgriculture>

チーク及び広葉樹の製材量の推移を図 3.9 に示す。2014 年以降の木材搬出量の低下に伴い、製材生産量も減少傾向がみられる。

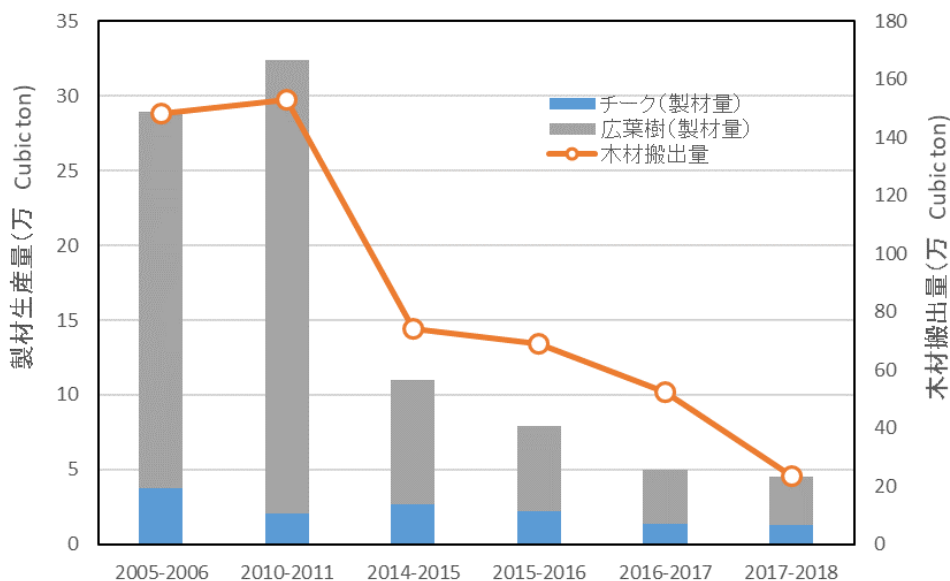


図 3.9 ミャンマーの木材生産量と製材量の推移

出典：ミャンマー年間統計 2019²⁸、ミャンマー農業統計（2018-2019）²⁹

合板と単板生産量の推移を図 3.10 に示す。合板と比較して、単板の生産量が占める割合が大きい。単板の原料となるのは広葉樹のピンカド (*Xylia xylocarpa*) やイン (*Dipterocarpus tuberculatus Roxb.*) である。

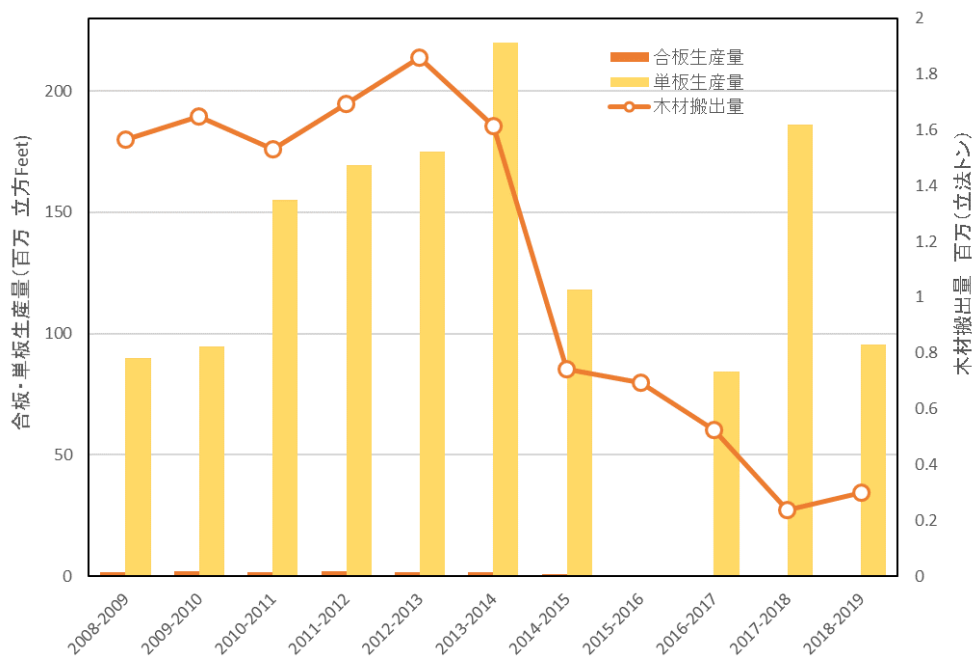


図 3.10 ミャンマーの合板・ベニヤ板の生産量推移

出典：ミャンマー農業統計（2008-2009～2017-2018）²⁷

²⁸ Myanmar Statistical YearBook 2019 (Ministry of Planning and finance, 2020)

https://www.mmsis.gov.mm/sub_menu/statistics/fileDb.jsp?code_code=001

²⁹ Myanmar Agricultural Statistics (2018-2019) (Ministry of Planning and finance, 2020)

3.1.3 木材及び木材製品の貿易

(1) 木材及び木材製品の輸出入

ミャンマーの木材輸出量の推移を図 3.11 に示す。2014 年以降、ミャンマーの木材輸出量は、急激に減少している。これは同年に、原木輸出が禁止されたこと等が関連している。

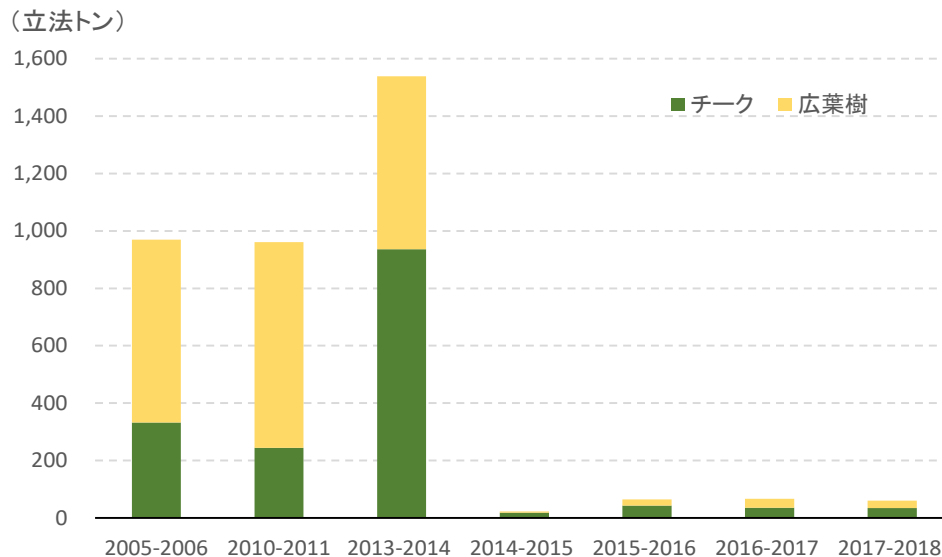


図 3.11 木材輸出量の推移

出典：ミャンマー年間統計 2019²⁸、ミャンマー農業統計（2008-2009～2017-2018）²⁷

ミャンマーの木材関連の輸出額の推移を示した図 3.12 をみると、広葉樹と比較してチークの輸出金額の占める割合が大きい。また、2014 年以降は、チークや広葉樹の製材より、合板や単板であるその他の木材製品の輸出金額の割合が増加している。

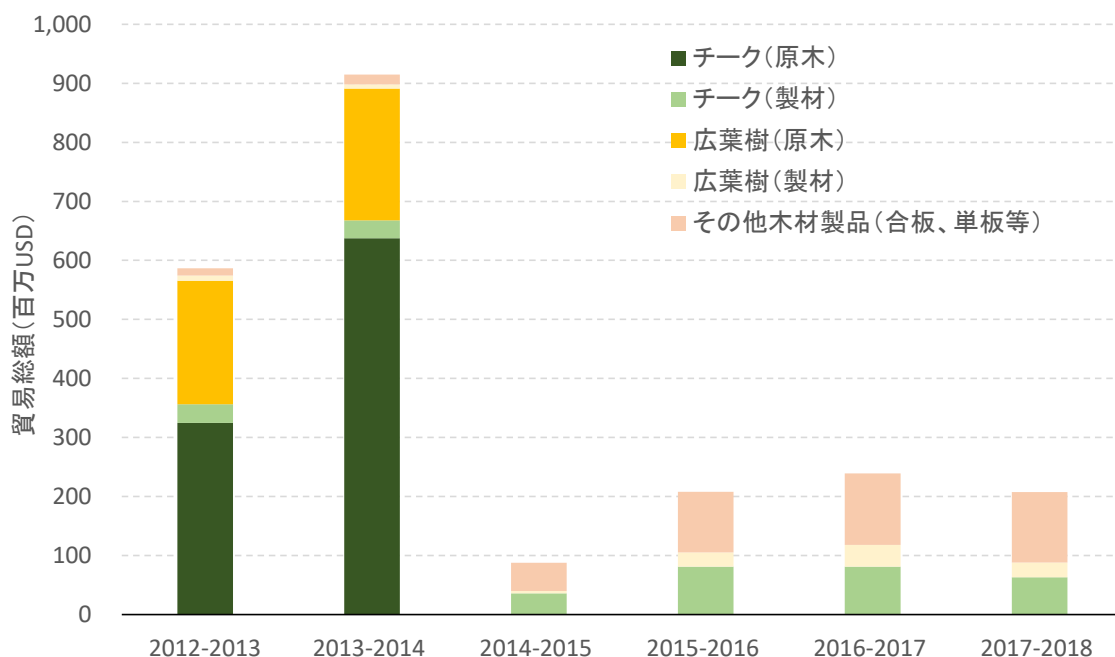


図 3.12 ミャンマー木材関連輸出額の推移

出典：ミャンマー農業統計（2008-2009～2017-2018）²⁷

木材製品の輸入総額の推移を図 3.13 に示す。木材関連製品の輸入総額は、近年増加傾向がみられる。なお、輸入総額のうち、9 割近くを占めるパルプ等には、木質パルプやセルロース系の非木材パルプ、板紙や再生紙が含まれている。

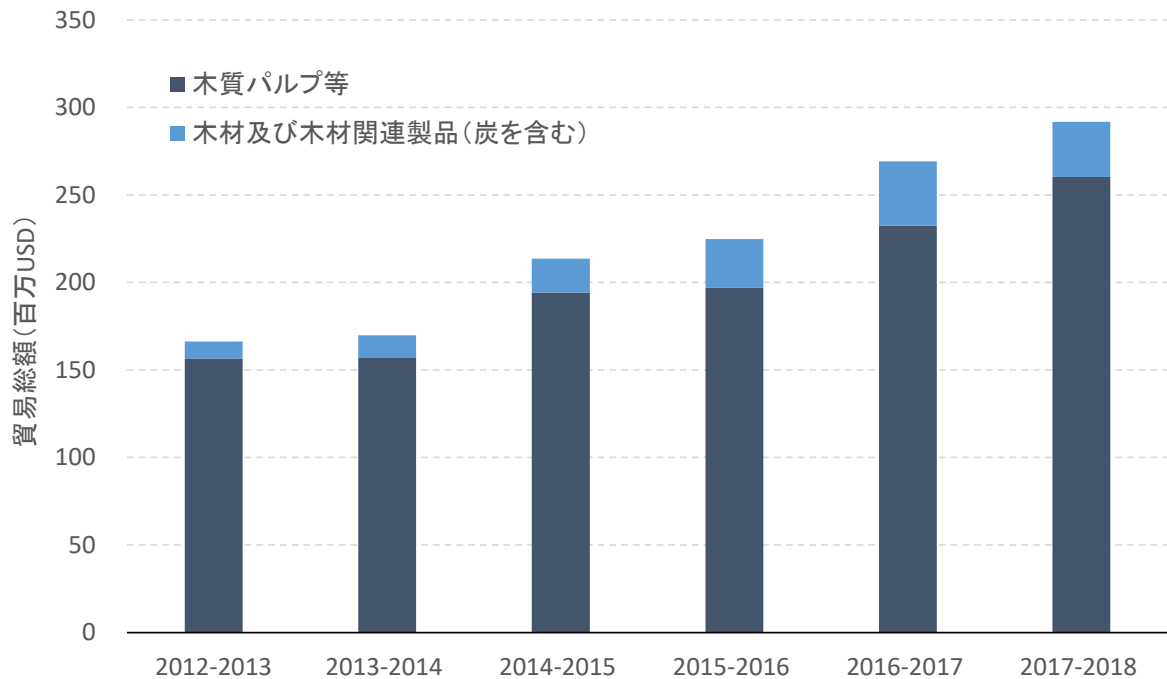


図 3.13 ミャンマー木材関連輸入額の推移

出典：ミャンマー農業統計（2008-2009～2017-2018）²⁷

ミャンマーの主な木材輸出先を図 3.14 に示す。ミャンマーの最大の木材輸出国はインドであり、インド・中国・タイの上位 3 か国でミャンマーの木材輸出総額全体の約半分を占めている。

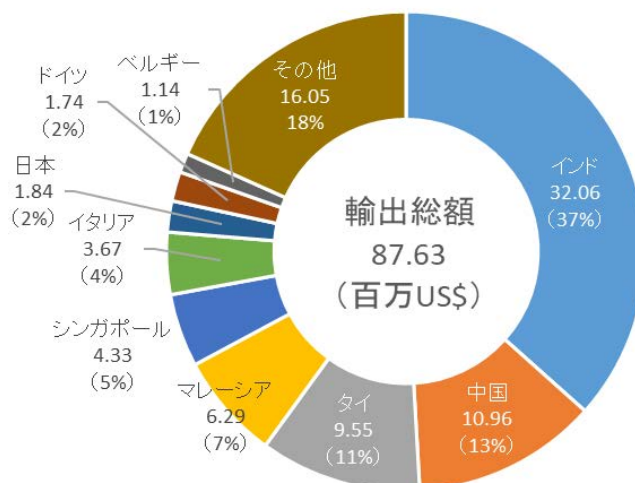


図 3.14 ミャンマーの木材の輸出先 (2018 年度)

出典：ミャンマー年間統計 2019²⁸

(2) 日本との取引状況

2019年の日本のミャンマーからの木材・木材関連製品の輸入総額は約9.6億円で、これは日本の木材・木材関連製品輸入総額全体の1%以下と小さい。日本のミャンマーからの木材関連製品の輸入金額の推移を図3.15に示す。2013年をピークに木材・木材製品の輸入量が減少しているが、これはミャンマー政府が2014年に原木輸出を禁止した影響等を受けたためと考えられる。2019年にミャンマーから輸入された木材関連製品のうち、木材は、製材、さねはぎ加工等の加工を施した木材、単板等となっている。なお、ミャンマーからの木材パルプ等及び古紙の輸入は緩やかな増加傾向にある。

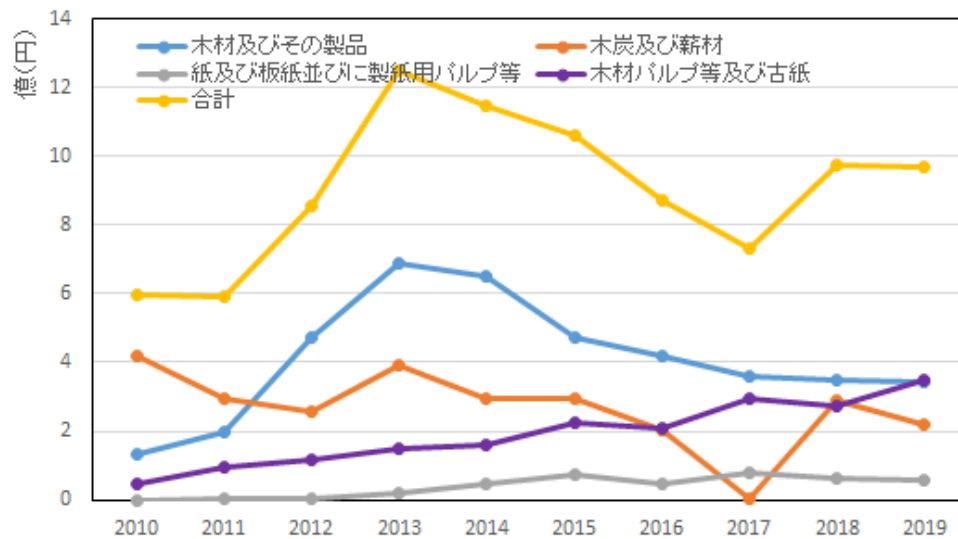


図 3.15 2010年以降のミャンマーからの木材関連製品の輸入額の推移

出典：財務省貿易統計⁷を基に調査団作成

3.2 関連政府機関の概要

3.2.1 木材の伐採・輸送・貿易に対する各政府機関の関わり

ミャンマーにおける木材の伐採・流通に関連する政府機関は、天然資源環境保全省、天然資源環境保全省管轄下の森林局とミャンマー木材公社、木材の輸出には商業省、計画財務産業省等が関連している。表 3.4 に木材の伐採から輸出までのプロセス上で発生する主要な許可と許可の発行に関連する機関を整理した。

表 3.4 木材伐採・流通にかかるミャンマーの関連機関

活動	主要な許可	関連省庁	関連部局
伐採	森林内立入りと伐採作業許可の発行	天然資源環境保全省	森林局
	伐採命令と伐採指示	天然資源環境保全省	ミャンマー木材公社
流通	輸送パスの発行	天然資源環境保全省	森林局
加工	木材の加工許可	天然資源環境保全省	森林局
	木材の算出許可	天然資源環境保全省	森林局
輸出	木材製品の合法性証明書	天然資源環境保全省	森林局
	輸出ライセンスの発行	商業省	商業消費者局
	輸出申告書の発行	財務計画省	税関局
	木材の輸出	ミャンマー森林製品および木材販売者協会（民間）	
認証	合法木材認証システム及び地蔵可能な森林管理システムの開発	天然資源環境保全省	ミャンマー森林認証委員会（省傘下の外部機関）

出典：聞き取り結果を基に調査団作成

3.2.2 各関連政府機関の概要

(1) 天然資源環境保全省 (Ministry of Nature Resources and Environmental Conservation; MONREC)

天然資源環境保全省は2016年の省庁再編により、環境保全林業省と鉱山省が統合され、森林環境と鉱山の2分野を管轄する省である。森林環境分野の管轄として、大臣オフィスを含めて7つの機関が設置されており、このうちの森林局がミャンマーの森林管理全般を、ミャンマー木材公社が木材の生産・加工・流通を担っている。図 3.16 に天然資源環境保全省の組織図を示す。

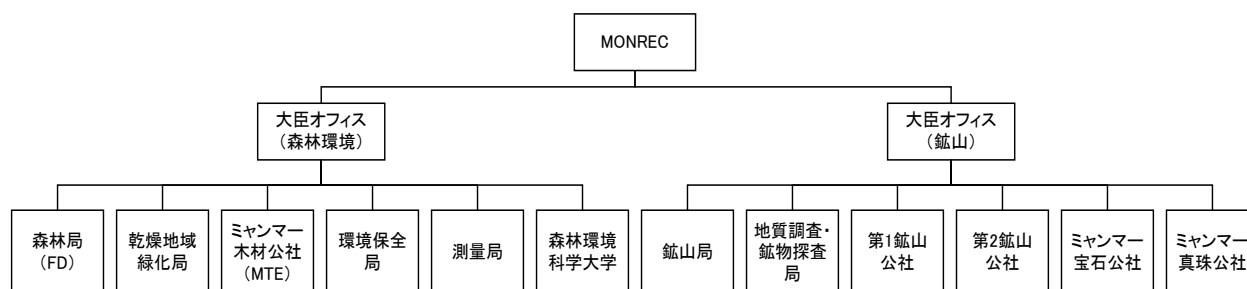


図 3.16 天然資源環境保全省の組織図

出典：Forestry in Myanmar2020²⁵

(2) 森林局 (Forestry Department; FD)

森林局は天然資源環境保全省の下に位置し、森林法において、管理規則が定められている保全林（Reserved Forest：RF）と保護公有林（Protected Public Forest：PPF）の管理や、森林地以外の森林に覆われた土地の保全を行うことが定められている。

森林局は、中央本局に 11 部局があり、また 15 地方事務所 (Regional Offices)、68 地区事務所 (District offices)、321 現地事務所 (Township offices) が組織されている。職員数は正職員が 497 名、正職員以外のスタッフが 7,416 名で合計 7,913 名である。下記の図 3.17 に FD の組織図を示す。

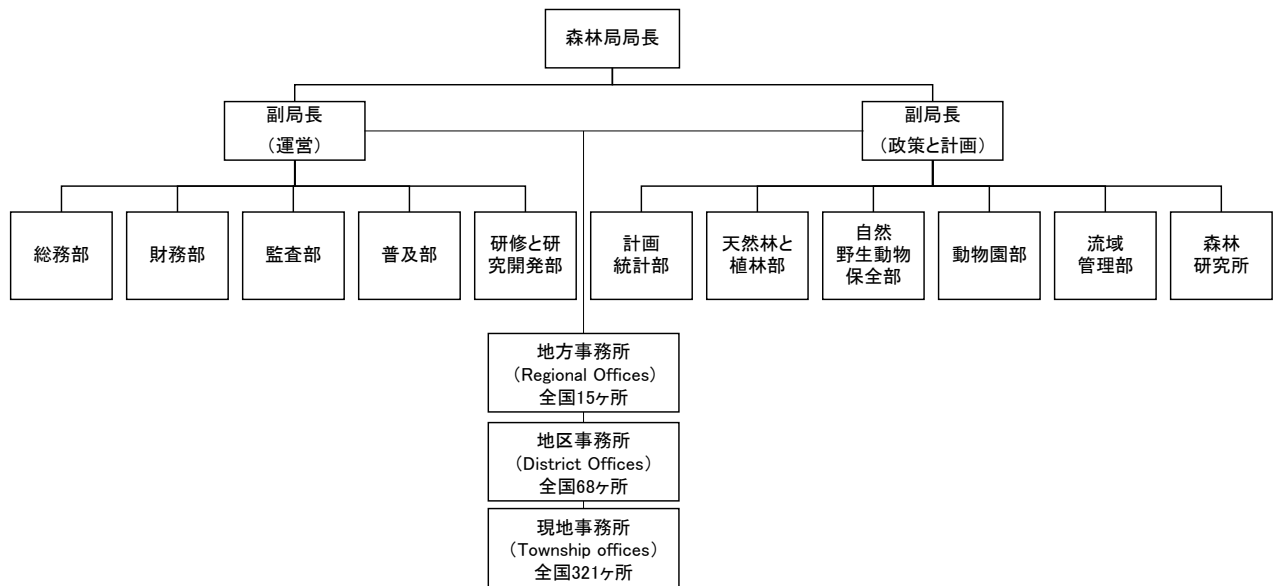


図 3.17 森林局の組織図

出典：Forestry in Myanmar2020²⁵

(3) ミャンマー木材公社 (Myanmar Timber Enterprise; MTE)

ミャンマー木材公社は、木材の伐採・搬出・加工・販売を担う国営企業である。森林法 6 章 18 条では、森林局が商業的規模の林産物の搬出を許可する際には、入札制度の利用が義務付けられているが、例外として、国営企業は入札制度を利用せずに、搬出を実施できる権限が与えられている。ミャンマー木材公社は、この国営企業に該当し、事実上ミャンマーの天然林で、木材の伐採と搬出を実施できる唯一の機関である。ミャンマー木材公社は正職員が 792 名、正職員以外のスタッフが 13,788 名で合計 14,580 名であり、天然資源環境保全省の森林関連機関で最も規模が大きな組織である。図 3.18 にミャンマー木材公社の組織図を示す。

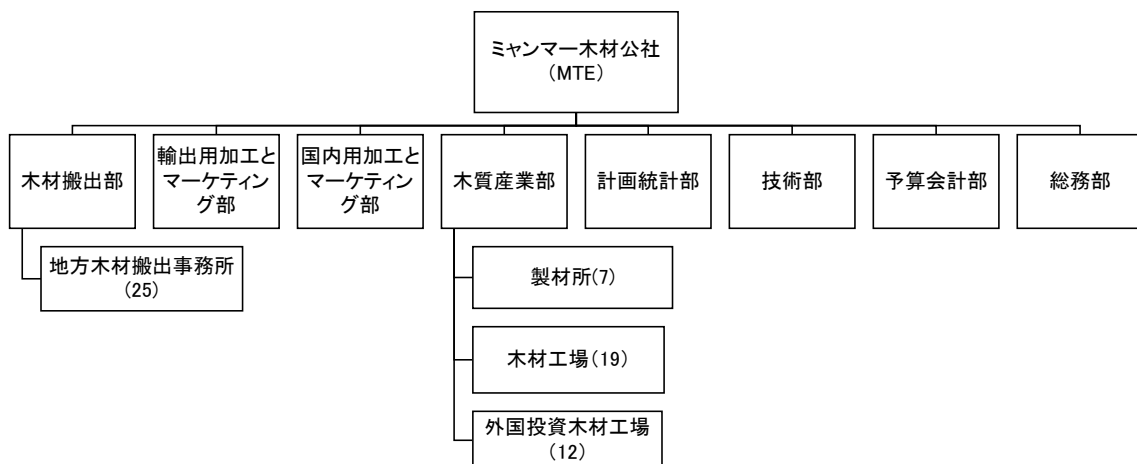


図 3.18 ミャンマー木材公社の組織図

出典：Forestry in Myanmar2020²⁵

木材の伐採・搬出を管轄する木材搬出部はミャンマー国内に 25 ヶ所の搬出/搬送事務所を持つ。

図 3.19 にミャンマー木材公社の木材搬出部の組織図を示す。

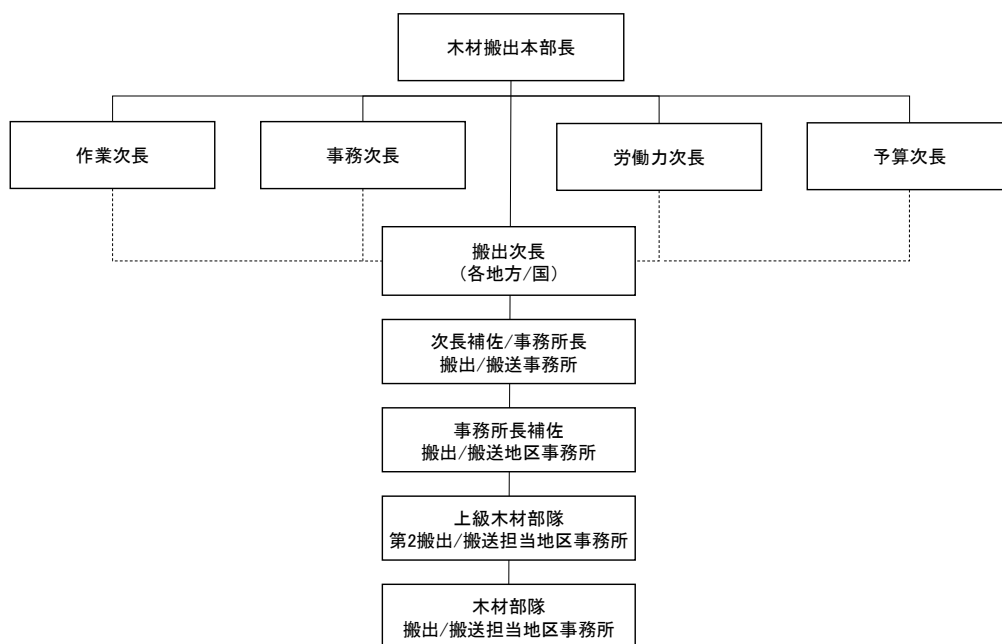


図 3.19 ミャンマー木材公社木材搬出部の組織図

出典：ミャンマー木材公社ウェブサイト³⁰

(4) ミャンマー森林認証委員会 (Myanmar Forest Certification Committee; MFCC)

ミャンマー森林認証委員会 (MFCC) は、大臣令通告 No.24/2013 によって、ミャンマー木材認証委員会 (TCCM) の、ミャンマーの森林と木材の認証を通じて持続可能な森林管理の確立とミャンマーの木材製品の国際的な取引を促進するという目的を引き継ぐ形で設立された。MFCC はミャンマー木材合法性証明システム (Myanmar Timber Legality Assurance System :MTLAS) 及びミャンマー森林認証制度 (Myanmar Forest Certification Scheme:MFCS) の開発を担っている。図 3.20 にミャンマー森林認証委員会の組織図を示す。2020 年 12 月時点で、事務局に 10 名、森林管理技術員等の委員会メンバーが 15 名在籍している。

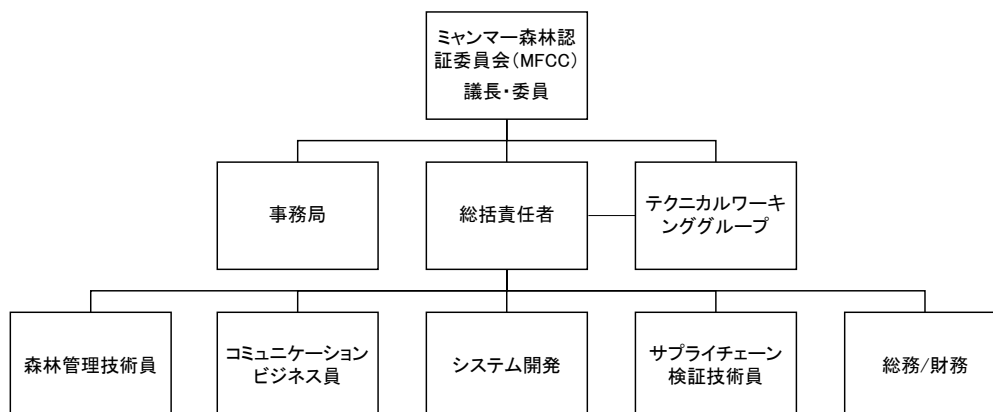


図 3.20 ミャンマー森林認証委員会の組織図

出典：ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト³¹

³⁰ ミャンマー木材公社ウェブサイト <http://www.mte.com.mm/>

³¹ ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト <https://myanmarforestcertification.org/>

(5) ミャンマー森林製品および木材販売者協会(Myanmar Forest Products and Timber Merchants Association : MFPTMA)

ミャンマー森林製品および木材販売者協会は、民間セクターによる森林を基盤とした経済開発によって、国民の所得向上に寄与することを目的とした民間組織である。具体的には、雇用機会を創出する新しい産業への投資促進、環境の復元を導く森林資源の効果的かつ効率的な利用、マイナーな林産物を含む木材製品の輸出拡大促進、森林ベースの民間ビジネス支援、中小規模の木材工業の統合と木材産業の活動を支援するための技術移転等による木材産業の基盤の確保等が活動目的として掲げられている。

ミャンマー森林製品及び木材販売者協会は、2010年に「ミャンマー森林製品木材販売者協会(Myanmar Forest Products Timber Merchants Association : MFPTMA)」として設立され、その後、「ミャンマー木材販売者協会(Myanmar Timber Merchants Association : MTMA)」、「ミャンマー森林製品販売者連合(Myanmar Forest Product Merchants Federation : MFPMF)」と改名され、現在の名称である「ミャンマー森林製品および木材販売者協会(MFPTMA)」に至る。

なお、ミャンマーから木材を輸入する際は、ミャンマー木材公社もしくはMFPTMAのメンバー企業を通じて調達する必要がある。2020年12月時点で、MFPTMAのメンバー企業は100社程度であり、内16社が外国資本の企業となっている。なお、MFPTMAのメンバー企業はMFPTMAのウェブサイト³²より確認できる。

(6) 商業省 (Ministry of Commerce; MOC)

貿易を通じた国家経済の発展を目指し、貿易の拡大、市場志向の経済システムに従った民間セクターの発展支援、国際機関と連携したミャンマー製品の国際市場におけるシェアの拡大、貿易の円滑化支援を担う政府組織である。木材輸出の際には、商務省商業消費者局から発行される輸出ライセンスが必要となる。

(7) 計画財務産業省税関局 (Ministry of Planning, Finance and Industry; MOPFI)

2019年に計画財務産業省は産業省と統合され、25の部門を持つ政府機関となった。この中の税関局が、木材輸出の際の輸出申告書を発行する機関となる。

³² ミャンマー森林製品及び木材販売者協会ウェブサイト <http://www.mfpmf.org/member-list/>

3.3 森林の伐採段階における法令等

3.3.1 法令等の運用状況

(1) 森林に適用（運用）される法律

ミャンマーには森林局の管理下にある恒久林に分類されている森林と、恒久林に分類されていない森林に覆われた土地がある。これらの土地は、農業灌漑省もしくは内務省によって管轄されている。ただし、森林法（2018）12条（a）では、恒久林もしくは森林に覆われた土地での開発事業や経済活動を行う場合には環境天然資源省の承認を取る必要があると定めている。このため、木材の伐採は、森林省の管轄以外の、森林に覆われた土地においても、森林局の定める手続きに従って実施される。表 3.5 にミャンマーの森林と土地の分類別の管轄機関、適応される上位法律を整理した。

表 3.5 ミャンマーの土地区分別の森林管轄機関と法律

管轄	分類		法律	定義・概要
天然資源 環境保全 省 森林局	恒久林* （Perma- nent Forest Estate: PFE）	森林地	保全林（Reserved Forest:RF）	政府の処分地にて保全林として定義づけられた、一般に伐採権のない高付加価値木材生産林
			保護公有林 （Protected Public Forest:PPF）	政府の処分地において保護公有林と宣言された、木材としての価値が低く、一般にも一定の伐採権があるアクセスしやすい森林
	保護区（Protected Area）		生物多様性保全と保護区法（2012）	特定の保護目的を達成するために規定、管理されている土地
農業灌漑 省	空地・休閒地・未開墾地に分類されている土地にある森林		空地・休閒地・未開墾地法（2012）ただし、森林については森林法（2018）	過去に耕作されたことがない、未利用地や森林地等で、農畜産業等のために政府から許可された土地（無効化された保全林含む）
内務省等	その他の森林がある土地		森林については森林法（2018）	既存の法律によって使用権や占有権等が生じていない土地

*恒久林という名称は、法的な定義づけはないが、森林局や天然資源環境保全省で用いられている区分である。

出典：聞き取り結果を基に調査団作成

1) 森林法（2018年改定）

ミャンマーでは、経済価値の高い樹種を持続的に生産する目的で1902年に林業法が制定された。この法律では、森林は主に商業的な資源として位置づけられていた。その後、1992年に環境や天然資源の保全を基本原則とした森林法が林業法に替わる法律として制定された。1992年の森林法では、多面的な機能を持つ森林の重要性が強調されており、森林資源管理における地域社会の参加奨励や植林、木材貿易等への民間セクターの参加が促進された。森林法はさらに2018年に改正が行われ、持続可能な森林管理という観点や地域住民及び先住民への配慮が追加された。また、違法伐採や不法な手段で入手した木材と木材製品の所持や輸送に関与した場合の罰則も強化された。森林法の項目を表 3.6 に示す。

表 3.6 森林法(2018年改訂)の章項目

章番号	章の表題と対応する条項番号
第1章	題名と定義(第1条 - 第2条)
第2章	目的(第3条) 保全林の構成と保護公有林の宣言(第4条 - 第8条)
第3章	森林管理(第9条 - 第12条)
第4章	森林プランテーションの設立(第13条 - 第16条)
第5章	林産物の搬出許可(第17条 - 第22条)
第6章	林産物の移動(第23条 - 第26条)
第7章	漂流、座礁もしくは放棄された木材の処分(第27条 - 第28条)
第8章	木材工場の設立(第29条 - 第31条)
第9章	捜査、逮捕、行政措置(第32条 - 第35条)
第10章	控訴(第36条 - 第38条)
第11章	違反と罰則(第39条 - 第47条)
第12章	雑務(第48条 - 第58条)

出典：森林法

2) 生物多様性保全と保護区法(2018年制定)

1994年に制定された野生生物保護と自然地域保全法に替わるものとして、2018年に生物多様性保全と保護区法が制定された。同法は、生物多様性戦略と関連政策、保護区の保全政策の実施や国際条約に従った野生生物(動物・植物)、生態系システム、渡り鳥の保護、自然科学研究と環境教育活動への貢献等を目的としている。さらに同法ではワシントン条約(CITES)等の国際的な義務の支援や、保護区内の野生動物の採取等に関する罰則が強化され、違法伐採等の抑止力も強化されている。

3) 空地・休閒地及び未開墾地法(2018年改定)

空地・休閒地及び未開墾地における土地の利用や手続き等の規定を定めた法律で、2012年に制定された。未開墾地は、立木や竹、低木の有無や地形が平坦か否かにかかわらず、荒野や森林に覆われた土地でこれまで一度も耕作されたことのない土地を意味すると定義している。

(2) 伐採時に適用(運用)される法令

森林伐採に関する手続きは、森林法にて規定されており、さらに詳細な規則や手続き等は、森林局やミャンマー木材公社の規則や基準書等で詳細が定められている。表 3.7 に伐採に関連する法令の運用状況を整理した。

表 3.7 伐採時に関連する法令

適用法律	土地及び森林分類	伐採を伴う活動	適用法律以外の関連する法令
森林法	恒久林	ミャンマー木材公社による収穫	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 森林伐採に関する国家行動規範（2000） ➢ 森林規則（1995、改定中） ➢ ミャンマー木材公社木材搬出マニュアル（1971） ➢ ミャンマー木材公社搬出部門指示（DIs）（2008） ➢ ミャンマー木材公社搬出職員への標準指示（SOS）（2000）
		植林木の収穫	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ミャンマー木材公社標準収穫作業手続き（SOP）（2019） ➢ チェーンソー規則（2013） ➢ 森林局部門指示 DIs ➢ 森林局の森林業務に関する各種手続き（SOP） ➢ 国家木材委員会法（1950） ➢ 労働安全衛生法 ➢ 労働者災害補償法
		コミュニティフォレストでの収穫	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 森林伐採に関する国家行動規範（2000） ➢ コミュニティフォレスト指導書（2019） ➢ 森林局地域コミュニティによる林業手続き（SOP） ➢ 森林規則（1995を改定中） ➢ 国家木材委員会法（1950）
	森林に覆われた土地	土地利用の転換による木材搬出	天然資源環境保全省と森林局の指導に基づいてミャンマー木材公社が実施

出典：森林法、土地法、聞き取り結果を基に調査団作成

1) 森林伐採に関する国家行動規範(2000)

1996年にFAOが発表した森林伐採に関する規範に基づいて策定された、ミャンマーの森林伐採に関する規範を定めたものである。

2) 森林規則（改定中）

森林規則は1995年に策定され、2020年時点では改定作業が進められている。改定中の森林規則では、恒久林の設定、森林地の管理、植林の設立、林産物の搬出許可の取得手続き等にかかる規定が示される予定である。

3) ミャンマー木材公社（MTE）木材搬出マニュアル(1971)

ミャンマー木材公社木材搬出マニュアルは、木材の搬出における詳細な作業手順を示しており、伐採段階における重要なツールと位置付けられている。

4) ミャンマー木材公社搬出部門指示（Departmental Instructions:DIs）（2008）

ミャンマー木材公社の木材搬出部門が実施する全ての搬出手順は、環境、社会、経済の3つの側面を含んだ持続可能な森林管理の原則に従うものとされている。この搬出部門指示（DIs）は法的拘束力を持ち、木材の搬出作業にかかる合計122の指示が含まれている。

5) ミャンマー木材公社搬出スタッフのための標準指示（Standing Orders for extraction Staff:SOS）（2000）

ミャンマー木材公社の搬出部スタッフが事務作業と収穫作業を円滑に行うための規定である。この規定には、一般的な事務事項、伐採前/伐採中/伐採後の計画、丸太の搬出、貯木場で川に浮いている原木の管理・計測、主要な川の貯木場の管理、雇用、在庫管理、林業作業を行う象の管理と

世話、トラックのメンテナンス等の規定が示されている。ただし、ミャンマー木材公社によれば、現在は木材の伐採や搬出における機械化等が進んでおり、木材搬出の実態にそぐわない内容も含まれている。

6) ミャンマー木材公社標準搬出作業手続き (Standard Operating Procedure for Harvesting Operations:SOP) (2019)

環境、社会、経済の3つの側面から持続可能な森林管理を実現するために、現在のミャンマーの実態に沿った持続可能な木材搬出作業の手続きを定めたものである。

7) コミュニティフォレスト指導書(2019)

コミュニティフォレスト指導書は1990年に策定され、2016年と2019年に改訂された。この指導書では、コミュニティフォレストを設立するためのルールが規定されている。2016年の改訂では、コミュニティフォレストメンバーが、森林から生活に必要な林産物を収穫するだけでなく、収穫した林産物を商業活動等、生計向上に活用することが認められた

3.3.2 伐採に関する許認可制度の状況及び許可証等の法令に基づく書類の概要

(1) 伐採に関する許認可制度の状況

図 3.21 にミャンマーの木材の伐採から搬出、輸送、加工、輸出に係る手続き全体を整理した。この中で、特に伐採に関する手続きの部分を赤色の枠で示したものを図 3.22 に示した。また、図 3.22 の赤枠内の伐採に関連する手続き (Step1~Step12、Step14) の詳細を、表 3.8 に整理した

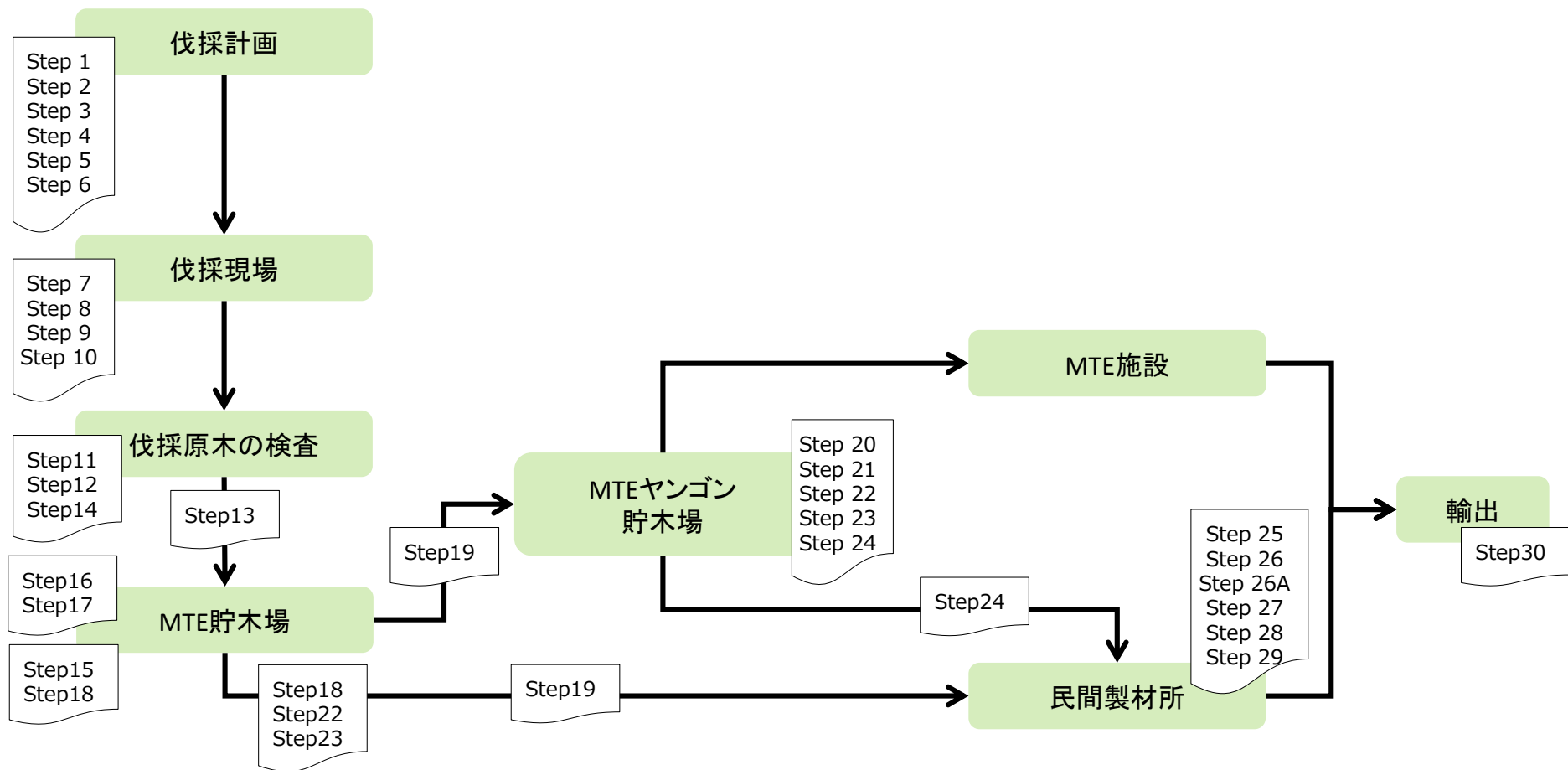


図 3.21 ミャンマーの木材伐採から輸出までの流れ

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

³³ MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS (MONREC, 2018)
<https://www.forestdepartment.gov.mm/Books/other/myanmar-timber-chain-custody-process-documents-and-actors>

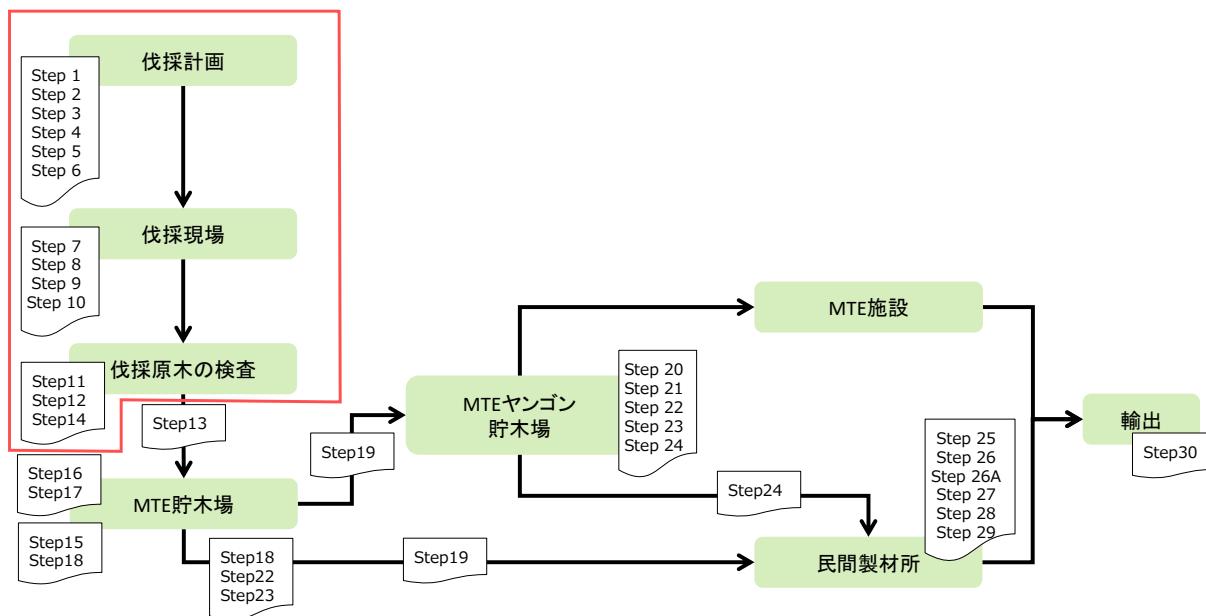


図 3.22 ミャンマーの木材伐採から輸出までの流れの伐採手続き(赤枠内)

表 3.8 伐採に関連する手続き

Step	活動	関連書類・記録	実行機関	
伐採計画	1	年間許容伐採量 (AAC) の設定	・ AAC 通知書 ・ 国及び州の立木マーク計画書	森林局計画統計部
	2	MTE 年間収穫計画策定	・ MTE 年間伐採計画書 (AHP)	MTE 木材搬出部長
	3	伐採許可立木のマーキング	・ 立木ノートもしくは立木マーキングノート ・ マーキング立木地図	森林局現地事務所
	4	伐採作業のための森林内への立ち入り許可の申請	・ MTE から森林局への許可申請書	MTE 木材搬出部
	5	伐採作業のための森林内への立ち入り許可の発行	・ 森林局から MTE への許可書	森林局地区事務所
	6	ハンマーマークの登録	・ ハンマーマーク登録	MTE 木材搬出部
伐採現場	7	調査報告	・ 調査報告書 (様式 AC)	MTE 木材搬出部
	8	伐採	・ 伐採指示書 (様式 AG) ・ 伐採要項 ・ 密林伐採台帳 (様式 B)	MTE 木材搬出部
	9	活動日報と進捗の記載	・ MTE 伐採台帳 (様式 C) ・ MTE 伐採台帳財務用 (様式 F)	MTE 木材搬出部
	10	原木の検査地点までの移動	なし	MTE 木材搬出部
林内の検査場	11	原木の測定とマーキング	・ 森林局ノート (様式 S-18) ・ 測定ノート (様式 D)	森林局現地事務所 MTE 搬出/搬送地区事務所
	12	森林道の敷設	・ 森林道建設進捗報告書	MTE 木材搬出部
	14	森林局による検査	・ 伐採時・伐採後検査票 (様式 1) ・ 伐採木検査月間報告書 (様式 2) ・ 搬出後のスタンプ検査 (様式 3)	森林局現地事務所

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

(2) 許可証等の法令に基づく書類の概要

伐採に関連する許可に、森林局が発行する「伐採作業のための森林内への立ち入り許可」(Step5)がある。同許可により、伐採作業及び森林内に立ち入ることが許可される。表 3.9 に許可の概要を示す。

表 3.9 伐採作業のための森林内への立ち入り許可の概要

発行責任者	森林局地区事務所のアシスタントダイレクター
許可に含まれる内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護林、公有保護林及びその区画の名前 ・ ミャンマー木材公社による伐採が許可されている立木の本数 ・ 伐採する権利をもつ組織の名前 (ミャンマー木材公社) ・ 立ち入りが許可されている象の頭数 ・ 許可の有効期限 ・ 年度 ・ 伐採される木材の数量 ・ 税収マーキングを行う場所 ・ 伐採木の検査を行い、森林局の税収済みハンマーを刻印する森林局職員名 ・ 発行された許可に基づく当該地区への立ち入りを許可に対する、その地区の森林局担当職員への指示
署名者	森林局管轄地区事務所のアシスタントディレクター

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

伐採中及び伐採後、森林局職員は、伐採作業が「伐採作業のための森林内への立ち入り許可」に基づいて実施されているか検査を行う。この検査結果は様式 1 (伐採時・伐採後検査票)、様式 2 (伐採木検査月間報告書)、様式 3 (搬出後のスタンプ検査) として整理される。様式 1~3 には、伐採された樹木の樹種や大きさ、シリアル番号等が記録される。

3.3.3 伐採の合法性が確認できる書類 (証明システム) の事例及びその発行条件

2020 年 10 月 23 日に、天然資源環境保全省は「ミャンマーの合法木材を示すための書類の発行について (Forest) 4 (1) /04 (Ka) /2026/2020」という通達を発行した。この通達では、木材の流通・加工における各段階の手続きで発行される 14 の書類を提示することで、木材の合法性が証明されるとした。ただし、この合法性を証明する 14 種類は、輸送段階以降で発行される書類であるため、伐採段階で発行される書類は含まれていない (参照：3.4.2 (2) 表 3.12)。これは、輸送段階移行で発行される 14 種類の書類は、伐採段階で必要な手続き・書類が揃っていないと発行されないためである。このため、伐採の合法性を確認するための書類としては、表 3.8 の手続きの過程で発行される書類が必要となる。表 3.8 に整理した書類のうち「伐採作業のための森林内への立ち入り許可」と「伐採命令」の事例とその発行条件を示す。

(1) 伐採作業のための森林内への立ち入り許可

伐採作業のための森林内への立ち入り許可の発行をうけるためには、ミャンマー木材公社木材搬出部長から森林局地区事務所長宛てに「伐採作業のための森林内への立ち入り許可」の申請書を提出する。なお申請書には、伐採を行う森林の区画、伐採年、伐採樹種、作業のための森林立ち入り予定日等が記載され、作業員名簿、使用機材リスト、使用象リストを添付して提出する。この申請書が提出されると、1 週間程度で図 3.23 に示す「伐採作業のための森林立ち入り許可」が発行される。

<p style="text-align: center;">သစ်တောရေးရာဝန်ကြီးဌာန သစ်တောဦးစီးဌာန တောင်ငူခရိုင်သစ်တောဦးစီးဌာနမှူးရုံး၊ တောင်ငူမြို့။ ကွင်းဝင်ခွင့်ပြုခြင်း။ ခွင့်ပြုမိန့်အမှတ်၊ ၄၈/၂၀၀၁-၂၀၀၂။ ရက်စွဲ ။ ၁၄-၂-၂၀၀၂။</p> <p>၁။ စာချုပ်အမှတ်နှင့်ရက်စွဲ ။</p> <p>၂။ ထုတ်လုပ်ခွင့်ရသူအမည် ။ မြန်မာ့သစ်လုပ်ငန်း၊ တောင်ငူမြောက်။</p> <p>၃။ မှတ်ပုံတင်အမှတ် ။</p> <p>မေရုပ်လိပ်စာ ။ သစ်ထုတ်ရေးဒေသ၊ တောင်ငူမြို့။ ထုတ်လုပ်ခွင့်ပြုပေးရန် ကြီးရုံး၊/ကြီးပြင် ။ ရေတာရှည်မြို့နယ်။</p> <p>၄။ ထုတ်လုပ်ခွင့်ပြုသစ်များ ။ ကိုင်းကြီးရိုင်းအဖွဲ့အစည်း (၁၁၃)။ သစ်မာပိုင်ပိုင်အောင် (၁၀၀၀)ပင် (၂၀၀၀-၂၀၀၁)ခုနှစ်။</p> <p>၅။ မှတ်ပုံတင်ပြီး မြန်မာ့သစ်လုပ်ငန်း ။ (သို့) ကုန်သွယ်တံဆိပ် ။</p> <p>၆။ ခုတ်လှဲပြီးသစ်များတံဆိပ်ရိုက်ရန်ကာလ ။ (၂၄) နာရီအတွင်း။</p> <p>၇။ စစ်ရိုက်ရန်နေရာ ။</p> <p>၈။ အကောက်ရိုက်ရန်နေရာ ။ အဖွဲ့အစည်း။</p> <p>၉။ အခွန်တော်ပေးသွင်းရမည့်ကာလ ။</p> <p>၁၀။ ဘီလ်ပြေစာထုတ်ရန် ။</p> <p>၁၁။ စာချုပ်သက်တမ်း ။</p> <p>၁၂။ ကွင်းဝင်ခွင့်ပြုသည့်ကာလ ။ (၁၄-၂-၂၀၀၂)မှ (၁၃-၂-၂၀၀၃)ထိ</p> <p>၁၃။ လူကြီးမင်းအား ထုတ်လုပ်ခွင့် သစ်ကွက်အတွင်း ဆင်ကွင်းဝင်ခွင့်အမှတ်၊ / - နှင့် တကွ သစ်လုပ်ငန်းကို ဆောင်ရွက်ခွင့်ပြုသည်။</p> <p>မှတ်ချက် ။ ကွင်းဝင်ခွင့်သက်တမ်း ကုန်ဆုံးပါက ထပ်မံခွင့်ပြုချက် တောင်းခံခြင်းမရှိဘဲ၊ သစ်ထုတ်လုပ်ခွင့် မပြုပါ။ ဆင်ကွင်းဝင်ခွင့်တောင်းခံရန်လိုအပ်ကြောင်း ဖော်ပြအပ်ပါသည်။</p> <p style="text-align: center;">() လက်ထောက်ညွှန်ကြားရေးမှူး တောင်ငူခရိုင်သစ်တောဦးစီးဌာန</p> <p>မိတ္တူ -</p> <p>၁။ ဦးစီးအရာရှိ၊ သစ်တောဦးစီးဌာန၊ ရေတာရှည်မြို့ထံ သို့အာရန်နှင့် ကွင်းဝင်ခွင့်ပြုထားပြီးဖြစ်၍ လုပ်ထုတ်လုပ်ခွင့်များ/စာချုပ်စည်းကမ်းများနှင့်အညီ သစ်ထုတ်လုပ်ခြင်းကို ကြီးကြပ်ကွပ်ကဲ ဆောင်ရွက်နိုင်ရန်အတွက် အကြောင်းကြားပေးပို့ပါသည်။</p> <p style="text-align: right;"><small>© \TIMBERPAD meeting\entrance.doc</small></p>	<p style="text-align: center;">森林局 〇〇地区事務所 XX年XX月XX日(立ち入り許可日)</p> <p>森林局と MTE の契約番号と日付 搬出/搬送事務所名 登録番号 MTE 住所 保全林名 樹種名 (伐採本数 XX 本) MTE 搬出部門と登録ハンマーマーク 伐採後のマーキング (伐採後 XX 以内) 測定地点で木がマークされる場所 税込支払い期限 会計 契約期限 許可期限 象の許可</p> <p>注：森林への立ち入り許可期限が切れた場合、伐採は再申請しない限り許可されない。象の立ち入り許可も同様</p> <p style="text-align: right;">アシスタントダイレクター 森林局地区事務所</p>
--	--

図 3.23 伐採作業のための森林立ち入り許可とその内容

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

(2) 伐採指示書

森林局より伐採作業のための森林内への立ち入り許可が発行されると、ミャンマー木材公社の搬出/搬送担当地区事務所は、図 3.24 に示す伐採指示書を発行する。伐採活動は伐採指示書と、その他の表 3.7 で示した伐採に係る法令に基づいて実施される。

	<p style="text-align: right;">様式 AG</p> <p style="text-align: center;">天然資源環境保全省 ミャンマー木材公社 XX 搬出/搬送担当地区事務所</p> <p style="text-align: center;">伐採指示</p> <p>立木番号 XX から XX まで 伐採者とチームメンバーの名前 開始日 伐採指示発行日</p> <p style="text-align: right;">担当地区事務所長のサイン</p> <div style="background-color: #e0f0ff; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">MTE 搬出部担当地区事務所から 伐採者への伐採指示要項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 森林局がマークした伐採対象木を伐採すること 2. 切り株の高さについて、チークは 0.5 フィート、広葉樹は 1.5 フィートを超えないこと 3. …… </div>
--	---

図 3.24 伐採指示書の事例とその内容

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

3.4 木材の加工・流通段階における法令等

3.4.1 法令等の運用状況

木材の輸送においては、森林法によって各種許可を取得することが定められている。また、森林局やミャンマー木材公社の規程において、さらに木材輸送手続きの詳細が定められている。なお、木材を加工する際は、森林法やミャンマー木材公社による規定のほか、木材工場で働く労働者の安全を確保する義務に関する法律等も適用される。表 3.10 に木材の流通段階において運用されている法令を整理した。

表 3.10 木材の流通段階における法令

活動	法令
輸送	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林法 (2018) ● 森林局部門指示 (DIs) ● 森林局林産品の輸送許可の作業手続き (SOP) ● ミャンマー木材公社木材搬出マニュアル (1971) ● ミャンマー木材公社搬出職員への標準指示 (SOS) (2000)
加工	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林法 (2018) ● ミャンマー木材公社搬出部門指示 (DIs) (2008) ● 森林局標準製材所検査作業手続き (SOP) ● 森林局製材所設立手続き ● ミャンマー木材公社国内売買と木材工場局ガイドライン (2017) ● 労働安全衛生法 ● 労働者災害補償法

出典：森林局聞き取り結果を基に調査団作成

3.4.2 木材の流通・合法性の確保に関する法令

(1) 法令に基づく手続きの概要

ミャンマーにて木材が伐採後、輸送、加工されるまでの流通に関する手続きの部分を図 3.25 に、赤色の枠で示した。また、図 3.25 の赤枠部分の手続きの詳細を、表 3.11 に整理した。

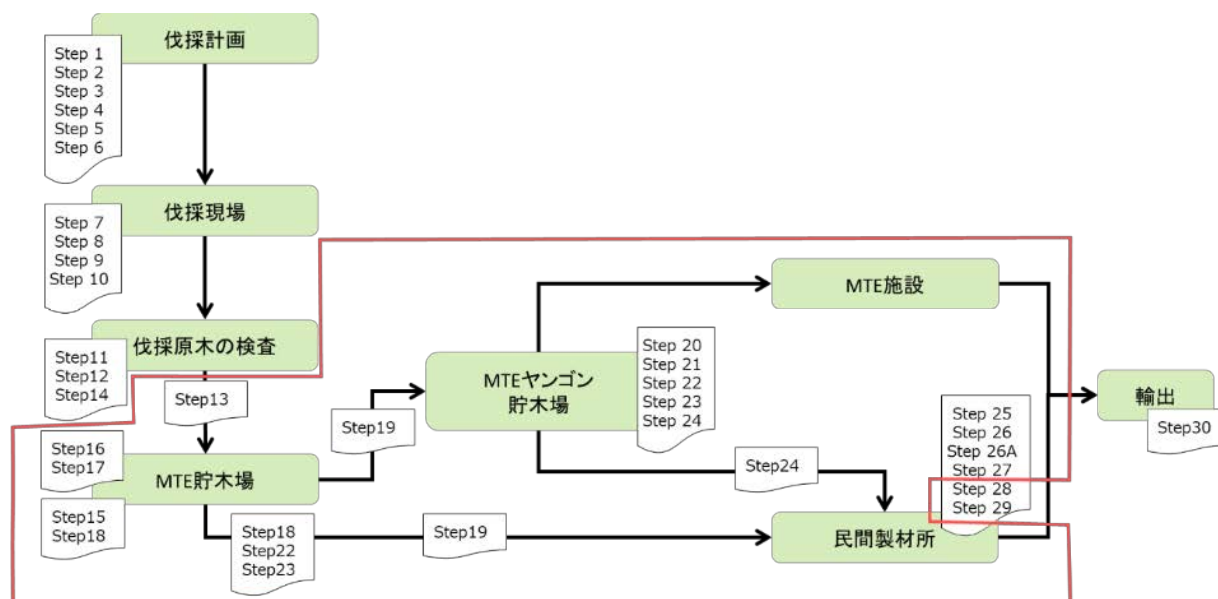


図 3.25 ミャンマーの木材伐採から輸出までの流れと流通に関する手続き(赤枠内)

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

表 3.11 木材の流通関連手続き

Step	活動	関連書類・記録	実施責任者
輸送	13 原木の測定地点から MTE 貯木場への輸送	・トラック輸送ノート (トラック伝票)	MTE 木材搬出部
MTE 搬出/搬送地区 事務所貯木場へ納入	16 森林道路の廃止	・林道廃止レポート ・林道廃止地図 ・林道廃止写真	MTE 木材搬出部
	17 完了報告書の提出	・終了報告書 (様式 AJ)	MTE 木材搬出部
	15 MTE 貯木場での原木の受入れ	・原木登録リスト ・貯木場受入れ元帳	MTE 木材搬出部
	18 原木の仕分けとグレード分け	・仕様書もしくはトラック輸送ノート (トラック伝票)	MTE 輸出部
	輸送	19 MTE の搬出/搬送地区事務所の貯木場から他の MTE 貯木場または MTE ヤンゴン輸出用貯木場への輸送 民間の木材購入者への輸送	・貯木場出荷記録 ・トラック輸送:トラック輸送ノート(トラック伝票)もしくは追跡伝票 ・船/筏/列車輸送:リムーバルパス (様式 AT)、原木測定リストを含めたリムーバルパス (様式 AU)、原木・木材の受け入れ書 (様式 AS)
MTE 貯木場もしくは MTE ヤンゴン貯木場	20 ヤンゴン貯木場での原木の受入れ	・原木入荷日報申告書 (様式 T1) ・原木入荷日報 (様式 T2)	MTE 輸出部
	21 原木の計測とグレード分け	・原木測定グレード登録日報 (様式 T4)	MTE 輸出部
	22 原木販売準備	・仕様書 (旧様式、現様式、新様式)	MTE 輸出部
	23 原木販売	・仕様書 (Step22 で準備したもの) (EMMD-1) ・販売契約書 (EMMD-2) ・商業請求書 (EMMD-3) ・送り状 ・輸送指示書 (EMMD-4) ・輸送事前情報書 (EMMD-5) ・輸送荷物参照 (EMMD-6) ・購入確認書 (EMMD-7)	MTE 輸出部
24 販売原木の輸送	・MET 木材輸送ノート ・リムーバルパス	原木購入者 と 森林局	
民間製材所	25 原木の受入れ (企業の貯木場)	・購入者の受入れレター	原木購入者
	26 木材の加工許可	・製材許可	森林局
	26A 既定の歩留まり率を超えた場合:歩留まりの承認	・歩留まり承認書	森林局
	27 木材製品発送準備	・梱包リスト ・木材製品の合法性証明書	原木購入者 森林局輸出用加工 木材認証チーム

出典: MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

(2) 合法性が確認できる書類

前述の 3.3.3 で触れた天然資源環境保全省の「ミャンマーの合法木材を示すための書類の発行について (Forest) 4 (1) /04 (Ka) /2026/2020」では、表 3.12 に示す 14 種類の書類を提示することで、ミャンマー木材の合法性が証明されるとしている。

表 3.12 合法性を確認するために必要な書類

番号	書類	発行機関	該当する伐採から輸出までのプロセス
(1)	民間貯木場での原木受け入れ証明	森林局	Step25：購入者の受入れレター
(2)	木材の加工許可書	森林局	Step26：製材許可書
(3)	歩留まり承認書	森林局	Step26A：歩留まり承認書
(4)	木材製品の合法性証明書	森林局	Step27：木材製品の合法性証明書
(5)	仕様書	ミャンマー木材公社	Step22：仕様書 (EMMD-1)
(6)	販売契約書	ミャンマー木材公社	Step23：販売契約書 (EMMD-2)
(7)	商業請求書	ミャンマー木材公社	Step23：商業請求書 (EMMD-3)
(8)	輸送指示書	ミャンマー木材公社	Step23：輸送指示書 (EMMD-4)
(9)	輸送事前情報書	ミャンマー木材公社	Step23：輸送事前情報書 (EMMD-5)
(10)	輸送荷物参照	ミャンマー木材公社	Step23：輸送荷物参照 (EMMD-6)
(11)	購入確認書	ミャンマー木材公社	Step23：購入確認書 (EMMD-7)
(12)	原産地証明書	貿易局	-
(13)	輸出ライセンス	貿易局	Step28：輸出ライセンス
(14)	輸出申告書	ミャンマー税関局	Step28：輸出申告書

※ミャンマー語の書類の英名が統一されていないため、天然資源環境保全省のレターに標記された書類名と、森林局が木材の伐採から輸出までのプロセスとして整理している書類名が一致しないものもある。

出典：天然資源環境保全省レターRef No. (Forest) 4 (1) /04 (Ka) / (2126/2020) ³⁴

この合法性を証明するために必要な 14 種類の書類には、表 3.11 で示した木材の流通関連の手続きの Step23～27 過程で発行される 11 種類の書類と、次項の木材の輸出関連の手続きの Step28 の過程で発行される 2 種類の書類、手続きの中では発行されないが、木材輸出者がミャンマー木材公社に申請することによって発行される原産地証明書で構成されている。表 3.12 に示す書類のうち、Step23～27 過程で発行される (1) から (11) までの 11 種類の書類の事例を図 3.26 から図 3.38 に示す。

³⁴ 天然資源環境保全省レターRef No. (Forest) 4 (1) /04 (Ka) / (2126/2020) (MONREC,2020)
https://www.forestdepartment.gov.mm/sites/default/files/Documents/Legality%20Document%20list_%20State%20ment_English_Version.pdf

ပတ်ဝန်းကျင်ထိန်းသိမ်းရေးနှင့်သစ်တောရေးရာဝန်ကြီးဌာန

မြန်မာ့သစ်လုပ်ငန်း

企業の受け入れ証明書

သလရ ()

ရက်စွဲ : 1.10.2013..

၁။ မြန်မာ့သစ်လုပ်ငန်းမှ ရောင်းချသည့်စုစုပေါင်းပစ္စည်းများအရ ကုမ္ပဏီဝယ်ယူမှုနှင့်ရရှိထားသော ကျွန်း/သစ်ပင်လုံးပေါင်းများအား မြည့်ပတ်သို့ရောင်းချရန်အတွက် တစ်နှစ်/နှစ်စဉ်အမှတ်ရယူရန်အမည် ချီးမြှင့်ခြင်း (မဟုတ်) မှ ပြင်ဆင်ခြင်းဖြင့် သစ်ထိပ်တွင်လုံး/လက်ပုံထိပ်ခြား ဖြစ်ပါသည်။

၂။ အဆိုပါ သစ်လုံးများနှင့်ပတ်သက်၍ မြန်မာ့သစ်လုပ်ငန်းအနေဖြင့် တန်ဖိုးပေးမှုကိစ္စမှာ လက်ခံရရှိခြင်း၊ အတန်းအတားခြားခြင်း၊ လက်ပုံထိပ်ခြင်း၊ သင်္ဘောတင်ပို့ရန် စစ်ဆေးကားတင်ပေးခြင်းစသည် လုပ်ငန်း (၄) ရပ်ကို အမြည့်အတိုင်းလုပ်ဆောင်ပေးခြင်းနှင့် သက်ဆိုင်ရာကုမ္ပဏီသည် သစ်ထွင်းအတွင်း သင်္ဘောတင်ပို့ထားရမည့်သစ်များနှင့် ပတ်သက်၍ သစ်အမျိုးအစား၊ အတန်းအတား၊ အရေအတွက်တို့ကို အောက်ပါအတိုင်း ပုံနှိပ်ကိစ္စ လက်ခံရရှိကြောင်းနှင့် ပါးစား၊ ရေသား၊ လေသား၊ လျှိုသရား၊ အနွှပ်ပင်အမျိုးမျိုးဖြင့် မျောက်ဆုံး၊ မျက်စိဆုံး၊ ရှိပုံများရှိပါက ကုမ္ပဏီမှ တာဝန်ယူခြင်း၊ သစ်ထွင်းစုစုပေါင်းပစ္စည်းများ ထောင်ရွက်မည်ဖြစ်ကြောင်း နှစ်ဘက်တာဝန်ရှိသူအသိသိတို့၏ သဘောတူညီချက်၊ ဝန်ခံကတိဖြင့် အောက်တွင်

シリアル番号	ロット番号	樹種名	品質	色	直径	材積	မှတ်ချက်
1	400			BLACK x 150	70	44.130	
2	401			RED x 150	70	40.706	
3	402			RED x 200	70	33.724	
4	403			GREEN x 200	70	45.316	
5	404		2	BIAK x 180	100	73.21	
6	405		3	RED x 190	70	47.578	
7	406		4	GREEN x 190	70	44.152	
8	407			BIAK x 195	70	58.222	
9	408			RED x 195	70	44.782	
10	409			GREEN x 200	93	59.896	
11	410			BIAK x 200	97	38.266	
12	411			BIAK x 200	97	60.204	
13	412			RED x 205	82	60.216	
14	412						
15	412						
16	412						
17	412						
18	412						
19	412						
20	412						
21	412						
22	412						
23	412						
24	412						
25	412						
26	412						
27	412						
28	412						
29	412						
30	412						
31	412						
32	412						
33	412						
34	412						
35	412						
36	412						
37	412						
38	412						
39	412						
40	412						
41	412						
42	412						
43	412						
44	412						
45	412						
46	412						
47	412						
48	412						
49	412						
50	412						
51	412						
52	412						
53	412						
54	412						
55	412						
56	412						
57	412						
58	412						
59	412						
60	412						
61	412						
62	412						
63	412						
64	412						
65	412						
66	412						
67	412						
68	412						
69	412						
70	412						
71	412						
72	412						
73	412						
74	412						
75	412						
76	412						
77	412						
78	412						
79	412						
80	412						
81	412						
82	412						
83	412						
84	412						
85	412						
86	412						
87	412						
88	412						
89	412						
90	412						
91	412						
92	412						
93	412						
94	412						
95	412						
96	412						
97	412						
98	412						
99	412						
100	412						

発送者 受取人

貯木場輸送担当者名 購入者名

図 3.26 (1) 民間貯木場での原木受け入れ証明

出典 : MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

ဦးစီးအရာရှိချုပ်၊ မြို့နယ်သစ်တောဦးစီးဌာန၊ အလုံမြို့နယ်
သစ်လုံး/သစ်ခွဲသားများ ပြန်လည်ခွဲစိတ်ဖြတ်ခြင်းအဖွဲ့

加工許可

သစ်ခွဲစိတ်ခွဲစိတ်အမှတ် - ၅၅/၂၀၁၅-၀၆
ရက်စွဲ - ၄.၁၂.၂၀၁၅

MTEကားတိုက်/မပြုစောအမှတ်(-)စောင်/အုပ်စုအရရှိခွင့်ဆိုင်ရရှိပြီး DO NO - 2760.2802.3536
3537/2014-15(L)အရ ကျွန်း/သစ်လုံး(၁၆၆)လုံး(၁၂၅ ခုစုစု)တန်အား၊ သစ်စက်လိုင်စင်အမှတ်(၂/၂၀၁၃-
၁၄) Ltd. ဘုရင့်ခေတ်လမ်း၊ အမှတ်(၂)အထပ်သားစက်ရုံဝင်း၊ (၄)ရပ်ကွက်၊
လိုင်မြို့နယ်တွင် ဆောက်ပါ သစ်စက်လိုင်စင်စည်းကမ်းများနှင့်အညီ ခွဲစိတ်ခွင့်ပြုသည်။

စွဲစိတ်ခွင့်ပြုသည့်ကားလ **期間** (၅.၁၀.၂၀၁၅ မှ ၃၁.၁၂.၂၀၁၅)။

စွဲစိတ်ခွင့်ပြုသည့်ကားလ **監督者** သစ်စက်အုပ်

စွဲစိတ်ခွင့်ပြုသည့်ကားလ **製材所所有者の住所** ဘုရင့်ခေတ်လမ်း၊ အမှတ်(၂)အထပ်သားစက်ရုံ
ဝင်း၊ (၄)ရပ်ကွက်၊ လိုင်မြို့နယ်။

စည်းကမ်းချက်များ

၁။ တာဝန်ကျအမှုထမ်း၏ ကြီးကြပ်မှုအောက်တွင်သာ ခွဲစိတ်ရမည်။

၂။ သစ်စက်တွင် ခွဲစိတ်သောသစ်များ၏ အကောက်ခံပတ်များ၊ သစ်မျိုး၊ အတိုင်းအတာနှင့် ထွက်ရှိသော ခွဲသားများအသေးစိတ်တာလီစာရင်းချုပ်တို့ကို ခွဲစိတ်မှု မှတ်တမ်းတွင် နေ့စဉ်ရေးသားရမည်။

၃။ မူရင်းအတိုင်းစာရင်း ဒီဘီတွင် ခွဲစိတ်သောသစ်လုံးတို့ကို မှန်ကန်စွာရေးသား၍ တာဝန်ကျအမှုထမ်းအား နေ့စဉ် လက်မှတ်ထိုး ပယ်ချက်ရှိစေရန် တင်ပြရမည်။

၄။ ခွဲစိတ်အရ ခွဲစိတ်သော သစ်လုံး/သစ်ခွဲသားများမှ လွဲစွဲမည်သည့်သစ်လုံး/သစ်ခွဲသားမှခွဲစိတ်ခြင်းမပြုရ။

၅။ ခွဲစိတ်သစ်တမ်း ကုန်ဆုံးပြီးအကြောင်း အမျိုးမျိုးကြောင့်သစ်များခွဲစိတ်ရန်ကျန်ရှိပါက သစ်တမ်း ကုန်ဆုံးသည့် နေ့တွင် ဤရုံးသို့ ခွဲစိတ်သစ်တမ်းတိုး လာရောက်လျှောက်ထားရမည်။

၆။ ဤရုံးမှလက်လံစစ်ဆေးပြီး ခွဲစိတ်ရန်အမှန်ကျန်ရှိသော သစ်လုံး/သစ်ခွဲသားများအတွက် လုံလောက်သောအချိန် ထပ်မံတိုးပေးပါမည်။

၇။ ခွဲစိတ်သစ်တမ်းကုန်ဆုံးပြီး(၇)ရက်အတွင်း ခွဲစိတ်ထွက်ရှိမှုစာရင်း ရေးသားနိုင်ရန် ဤရုံးသို့ ဆက်သွယ် တင်ပြဆောင်ရွက်ရမည်။

၈။ သစ်တောဦးစီးဌာနမှ သစ်အမျိုးအစားအလိုက်သတ်မှတ်၊ ကန့်သတ်ထားသည့် အများဆုံး ခွဲသား ထွက်ရှိမှု ရာခိုင်နှုန်းဘောင်အတွင်းသာ ခွဲစိတ်ရမည်။

၉။ သာမန်ခွဲသား ခွဲစိတ်မှုထက် ရှိရှိထူးခြားသည့် ခွဲစိတ်မှုမျိုးပြုလုပ်လိုပါက ၊ ညွှန်ကြားရေးမှူး၊ သစ်တောဦးစီးဌာန၊ ရန်ကင်းတိုင်းဒေသကြီးထံ သီးခြားခွင့်ပြုမိန့်တောင်းခံရန်ဖြစ်ပါသည်။

ဦးစီးအရာရှိ

သစ်တောဦးစီးဌာန၊ အလုံမြို့နယ်၊ ရက်စွဲ : ၄.၁၂.၂၀၁၅

森林局長のサイン

図 3.27 (2) 木材の加工許可書

出典 : MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

ပြည်ထောင်စုသမ္မတမြန်မာနိုင်ငံတော်
ပတ်ဝန်းကျင်ထိန်းသိမ်းရေးနှင့်သစ်တောရေးရာဝန်ကြီးဌာန
သစ်တောဦးစီးဌာန၊ ရန်ကင်းတိုင်းဒေသကြီး
ညွှန်ကြားရေးမှူးရုံး
စာအမှတ်အမှ/သစ/၀၀၃ နှစ် ၀၀၀၀ နှစ် ၀၀၀၀
ရက်စွဲ ၂၀၁၅ ခုနှစ်၊ နိုဝင်ဘာ ၀၀ ရက်၊ ၀၀ ခုနှစ်

လက်ထောက်ညွှန်ကြားရေးမှူး
သစ်တောဦးစီးဌာန
ရန်ကင်းအနောက်ပိုင်းခရိုင်

အကြောင်းအရာ: ကျွန်းသစ်လုံးများအား ဖွဲ့စိတ်ခွင့်ပြုပါရန်နှင့် ပြည်ပတင်ပို့ခွင့်ပြုပါရန်
要件: လျှောက်ထားခြင်း ခြေခံထားခြင်း ခြေခံထားခြင်း
ရည်ညွှန်း: ရက်စွဲ: သစ်တောဦးစီးဌာန၊ ညွှန်ကြားရေးမှူးရုံး၏ (၀၂-၀၁-၂၀၁၅) ရက်စွဲပါ
参照: စာအမှတ်လစ/အစ/၀၀၂ (၀၉၄၆၅/၂၀၁၅) နှစ် ၀၀၀၀

အကြောင်းအရာပါရှိစွန့်ပတ်သက်၍ ဖွဲ့စိတ်ခွင့်ပြုပါရန်နှင့် ပြည်ပတင်ပို့ခွင့်ပြုပါရန်
လုပ်ငန်း DO (၃) အစဉ်အတိုင်း ၂၀၁၅ ခုနှစ်၊ ဇူလိုင်လ ၁၅ ရက်နေ့မှစ၍ ကျွန်းသစ်လုံး
များအား သစ်တောဦးစီးဌာနနှင့် မြန်မာ့သစ်လုပ်ငန်း ပူးပေါင်းအဖွဲ့၏ ကြီးကြပ်မှုဖြင့် ဖွဲ့စိတ်ခွင့်ပြု
အောက်ပါအတိုင်း ထုတ်ပို့မှုများအား အတည်ပြုကြောင်း ရည်ညွှန်းစာအရ အကြောင်းကြားလာ
ခြင်းအပေါ် သိရှိအောင်ရက်စွဲပါရန် ထပ်ဆင့်အကြောင်းကြားပါသည်။

စဉ်	ကုန်ပစ္စည်း အမျိုးအစား	ပစ္စည်း/အမျိုးအစား	ပစ္စည်းအမျိုးအစား	ပစ္စည်းအမျိုးအစား
၀၀	၂၀၁၅ ခုနှစ်၊ ဇူလိုင်လ ၁၅ ရက်နေ့မှစ၍	ကျွန်းသစ်လုံး (SG-7) (၀၁၅)လုံး (၇၇.၈၁၀)တန်	Teak Pitches For Veneer ၄၇.၉၉၀၀-တန် Teak Square ၁၁၀၆၆-တန် Teak Conversion ၁၀၄၃၃၀-တန် Teak Mini Decking ၁၃၃၉၄-တန် ပေါင်း ၆၀.၈၆၈၀-တန်	၆၁.၆၈% ၀.၄၂% ၁၃.၄၁% ၀.၇၂% ၇၉.၂၃%

森林局長のサイン

图 3.28 (3) 歩留まり承認書

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

ပြည်ထောင်စု သမ္မတ မြန်မာနိုင်ငံတော်
REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR
စာအုပ်အမှတ် N022 BOOK NO. စာအုပ်နံပါတ် 30 PAGE NO.
သယံဇာတနှင့်သဘာဝပတ်ဝန်းကျင်ထိန်းသိမ်းရေးဝန်ကြီးဌာန
MINISTRY OF NATURAL RESOURCES AND ENVIRONMENTAL CONSERVATION
သစ်တောဦးစီးဌာန
FOREST DEPARTMENT
လမ်းပေါ်သစ်တောထုတ်ပို့ခြင်းအကြောင်း ထောက်ခံချက်

木材製品の合法性証明書
(Original)

အဖွဲ့အစည်း
会社名: National Inland Industry Ltd.
နေရာ
住所: 113, Kalyan Road, Bhamo, Sagaing Region, Myanmar
ပစ္စည်းအမျိုးအစား
木材製品名: Teak, Conversion, etc.
အရေအတွက်
数量: 232835
- ဝက်ဂဲလ်တန်
数量 (数字): 1494 (kg) 16,8158 ထပ်
- ဝက်ဂဲလ်တန်
数量 (文字): 1494 (kg) 16,8158 ထပ်
ထုတ်ပေးရက်စွဲ
Date: 19 SEP 2016
ထက်တမ်းကုန်ဆုံးရက်စွဲ
Date: 18 DEC 2016
မူရင်းစာအုပ်အမျိုးအစား
Original Book No: DO 232835 (kg) (16,8158 ထပ်)
စစ်ဆေးထောက်ခံချက်
検査: U.S.A. (ကုန်ပစ္စည်းစီမံခန့်ခွဲရေးဝန်ကြီးဌာန)
ထုတ်ပေးသူ၏ လက်မှတ်
Signature of Issuing Officer (စာအုပ်အမှတ်အစား)

森林局長のサイン

图 3.29 (4) 木材製品の合法性証明書

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

THE REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR
MINISTRY OF NATURAL RESOURCES & ENVIRONMENTAL CONSERVATION
MYANMA TIMBER ENTERPRISE

仕様書番号	TRLU- 111 /17-18	ロット番号	TP(B)-33
樹種	TEAK ROUND LOG	SOT 番号/日付	08/16-17 & 24.3.17
品質	SAWING GRADE-6	譲受人名	SK WOOD INDUSTRIES ON BEHALF OF TROPICAL WOOD
本数	37	契約番号	DGL-076/16-17(SOT)(EX-IR)
材積	24.572	目的地	AMARAPURA
ペイントマーク	BLACK mx-4	金額	US\$ 1844
搬出事務所名	West Mawlaik /*	年	2014-2015

様式 D 番号	シリアル 番号	納税 番号	長さ	Girth		CUBICAL CONTENT			Harvesting	
				FT	IN	Cb.Dec	H.T	M ³	Standing Tree No./ Log No.	Revenue Mark
Mindant Depot	1	4434	22	5	7	42.9	0.858	1.547	0000	SGC-5/15
Ex-Site(SOT)	2	19724	18	5	3	31.0	0.620	1.118		
	3	4929	19	5	6	35.9	0.718	1.294		
	4	4935	19	5	0	29.7	0.594	1.071		
	5	4816	20	4	7	26.3	0.526	0.948		
	6	4814	18	5	1	29.1	0.582	1.049		
	7	4921	20	4	7	26.3	0.526	0.948		
	8	4806	21	4	5	25.6	0.512	0.923		
	9	7857	22	5	0	34.4	0.688	1.240		
	10	4808	20	5	8	40.1	0.802	1.446		
	11	8746	21	5	1	33.9	0.678	1.222		
	12	7647	18	5	10	38.3	0.766	1.381		
	13	7849	18	4	10	26.3	0.526	0.948		
	14	5434	18	5	11	39.4	0.788	1.421		
	15	7569	18	5	11	39.4	0.788	1.421		
	16	7553	18	5	8	36.1	0.722	1.302		
	17	7571	18	5	10	38.3	0.766	1.381		
	18	7567	19	4	7	24.9	0.498	0.898		
	19	4378	23	5	1	37.1	0.742	1.338		
	20	6660	14	7	2	44.9	0.898	1.619		
	21	6665	18	4	9	25.4	0.508	0.916		
	22	4933	13	6	5	33.5	0.670	1.208		
	23	7774	18	5	3	31.0	0.620	1.118		

MTE 作成 MTE 確認 MTE クロスチェック

AUNG THAN ZAW
SENIOR CLERK
TEAK ROUND LOG UNIT

LWIN LWIN AYE
JUNIOR ASSISTANT
TEAK ROUND LOG UNIT

MYANMA TIMBER ENTERPRISE

図 3.30 (5)仕様書(EMMD-1)

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

RESTRICTED EMMD-2

REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR
MINISTRY OF NATURAL RESOURCES AND ENVIRONMENTAL CONSERVATION
MYANMA TIMBER ENTERPRISE

契約番号

SALE CONTRACT NO: DGL-076/2016-2017 (SOT) (EX-IR)

DATED 日付: 27 April, 2017.

SOLD TO: SK Wood Industries Ltd., No.103 Sawmill Compound, Amarapura Township, Mandalay, Myanmar on behalf of Tropical Woods Co., Ltd., Yangon, Myanmar. (hereinafter called Buyers).

購入者

BY 販売者: MYANMA TIMBER ENTERPRISE, GYOGONE INSEIN, YANGON, REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR. (hereinafter called Sellers).

REFERENCE: (1) Ministry of Natural Resources and Environmental Conservation, Minister's Office Executive Committee No.9/2013 dated 22-3-2013, 9/2014 dated 16-5-2014 & 9/2015 dated 4-6-2015.
(2) Managing Director remarks dated 5-4-2013.
(3) General Manager remarks dated 8-4-2013 & 7-4-2017.
(4) Deputy General Manager (Marketing) remarks dated 20-3-2015 & 18-6-2015.
(5) Deputy General Manager (Marketing)'s Office Letter No. 066/Da Hta Ma (Ya Wa Ya) Hnyunyar dated 23-12-2009.
(6) Our Special Open Tender Sale (SOT-08/2016-2017) (EX-SITE)(TL) dated 24-3-2017 & Notice Ref. No.341/EXPORT(MKT-1)SOT (EX-SITE) dated 13-3-2017.
(7) Our Dry/Green Teak Round Logs Inspection Slip No.7930 dated 3-4-2017.
(8) Our Dry/Green Teak Round Logs Sale Confirmation Ref: No.433/EXPORT (MKT-1)SOT (EX-SITE) dated 31-3-2017.
(9) Tropical Woods Co., Ltd's letter dated 6-4-2017 & 7-4-2017.
(10) SK Wood Industries Ltd's letter dated 7-4-2017.

参照

The following goods at the prices, and on the terms, conditions and warranties stated hereunder and as per Appendix (A) which forms an integral part of the contract.

1. 商品: Myanmar Dry/ Green Teak Round Logs

2. 場所: At Mawlike (West) Extraction Agency.

3. CLASSIFICATIONS: As stated below:

ロット番号 品質 材積 価格/HT 搬出年

TP(B)-33 SG-VI About 24.572 US\$ 1844 2014-2015

4. 数量: Up to about 24.572 Hoppus Tons. (About here shall mean 10% more or less on quantity & value).

5. 印紙税: Stamp Duty for this contract will be paid by the buyer at the rate of 1% (or) maximum 150,000/Kyats on contract value according to the Myanmar Stamp Act.

RESTRICTED

図 3.31 (6)販売契約書(EMMD-2)(1枚目)

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

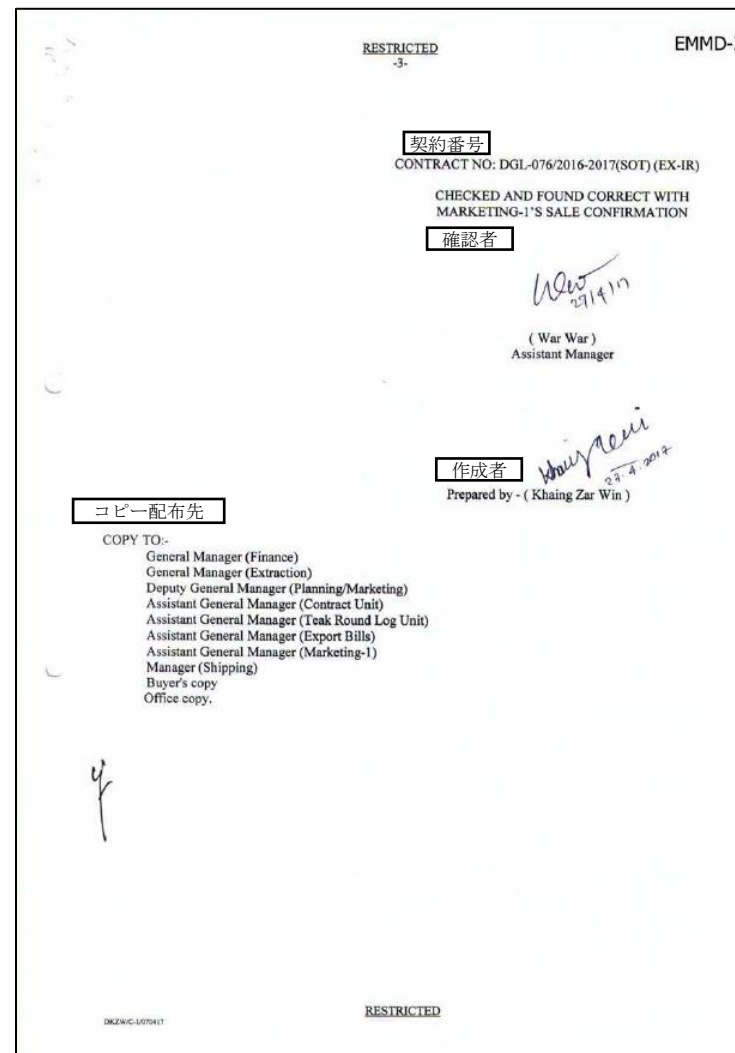
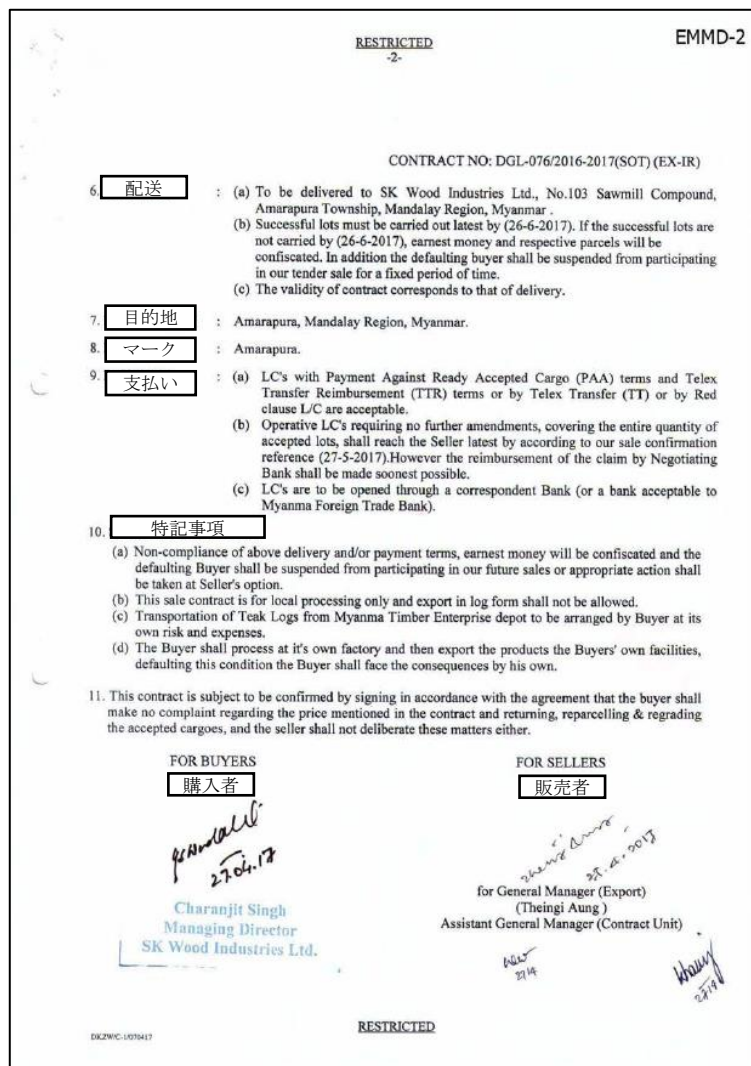



図 3.32 (6)販売契約書(EMMD-2)(2枚目)

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

図 3.33 (6)販売契約書(EMMD-2)(3枚目)

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

EMMD-3



商業請求書フォーム
 COMMERCIAL INVOICE FORM

Consignee- 譲受人 THE REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR
 M/S. BK WOOD INDUSTRIES MINISTRY OF NATURAL RESOURCES AND ENVIRONMENTAL CONSERVATION
 ON BEHALF OF TROPICAL MYANMA TIMBER ENTERPRISE
 WOOD. DO NO. 344/2017-2018(L) DT. 30.5.2017

Destination- 目的地 AMARAPURA. 請求書番号と日付 30.5.2017 請求目的 MYANMA TEAK ROUND LOGS. L/C Expires on- Contract Ref- 参照契約書番号
 B/L Date
 DO NO. 076/2016-2017 (EX-IR).

マーク	詳細	本数	材積	HT/立方トン	価格/トン	金額 (US\$)	Amount in Contract (US\$)
	MYANMA TEAK ROUND LOGS SAWING GRADE (C) QUALITY MYANMA TEAK ROUND LOGS, 11'6&P LONG x 53'6&P GIRTH (C) (B)-33 Specification No.	37	44.296	24.572	1844	45310.77	TRM-111/2017-2018.
(US. DOLLARS FORTY FIVE THOUSAND THREE HUNDRED AND TEN AND CENTS SEVENTY SEVEN ONLY). INTG NO. 014122017 DT. 26.5.2017							

AED For and on behalf of Myanmar Timber Enterprise
 Authorized Signature:
 Khine Khine Soe
 Assistant Manager
 (Export Bills Section)
 Myanmar Timber Enterprise
 MTE サイン

図 3.34 (7) 商業請求書(EMMD-3)

出典 : MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

12931 EMMD-4
ORIGINAL

THE REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR
MINISTRY OF NATURAL RESOURCES AND ENVIRONMENTAL CONSERVATION
MYANMA TIMBER ENTERPRISE

輸送指示番号

DO NO. 344/2017-2018(L) DATED: 30-5-2017

SUBJECT 要件: DELIVERY OF MYANMA GREEN TEAK ROUND LOGS. XX の輸送

THE ASSISTANT GENERAL MANAGER
TEAK ROUND LOG UNIT

**ဆက်တောထောက်ခံချက်ထုတ်ဖော်ရေး ဌာနမှတ်ပေးထည့်
(ဝါတ်ပုံပုံစံအတိုင်း)**

PLEASE PREPARE PARCEL AS FOLLOWS & DELIVER AS INSTRUCTED BY.....
MKTG (1) OFFICE.

ACCOUNT : SK WOOD INDUSTRIES LTD

商品 COMMODITY : MYANMA GREEN TEAK ROUND LOGS.
品質 QUALITY : SAWING GRADE (6)
請求書番号 NO : 43-56/ 138/ MKT/ 2017-2018
契約番号

DELIVER NO	PCS	LOT NO	DNIS	SECT ID
DGL-076/16-17(302) (EX-IR)	37	TP(B)-33	24,572	TRLU-111/17-18

2

(FOURTY FOUR POINT FIVE SEVEN TWO DNIS),
QUANTITY NOT TO EXCEED : 24,572 DNIS (37 PCS) (44,296 HT)

AMOUNT AVAILABLE : US\$ 45310.77
DELIVER ORDER : US\$ 45310.77
BALANCE : US\$
Date: 30/5/17

(FOR USE)
ASSISTANT GENERAL MANAGER (EXPORT BILLS)


COPIES TO DIRECTOR, D. YEN DIV. (WITH SECT);
DEPUTY GENERAL MANAGER (MKTG);
THE ASSISTANT GENERAL MANAGER (MKTG-1);
LAWSON REPRESENTATIVE;
OFFICE COPY.

**ထောက်ခံချက်ထုတ်ဖော်ရေး ဌာနမှတ်ပေးထည့်
ဖြစ်သည်။ ကုန်ပစ္စည်း သယ်ယူရန်စီစဉ်ပြီး ဆက်တော
ဌာနမှတ်ပေးထည့် ချက်ထုတ်ဖော်ရေး ဌာနမှတ်ပေးထည့်**

图 3.35 (8) 輸送指示書 (EMMD-4)

出典 : MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

EMMD-5



MYANMA TIMBER ENTERPRISE
EXPORT MARKETING & MILLING DEPARTMENT
TEAK MARKETING UNIT

Advanced Information for Parcel Transfer 輸送事前情報

Reference No; 38/EXPORT/MKT
Date ; 1-6-2017

To
Assistant General Manager
Teak Round Log Unit

Hereafter, we would like to inform that under mentioned parcel for which is issued Delivery Order can be transferred to the following representative from the relevant company:-

(a) Sale Contract	DGL-076/2016-2017(SOT)(EX-IR)
(b) Lot No.	TP(B)-33
(c) Species	Teak Log
(d) Quality	Sawing Grade-6
(e) Logs	37 pcs
(f) Tonnage	44.296 HT
(g) Paint Mark	Black mx-4
(h) Specification No.	TRLU-111/2017-18
(i) Deliver Order No & Date	344/17-18(L)(30-5-2017)
(j) Representative's Name	U Aung Myo Naing, 12/DAKAMA(N)-022655 Sk Wood Industries

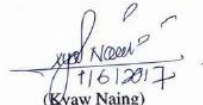


(Kyaw Naing)
Assistant General Manager
Teak Marketing Unit

图 3.36 (9) 輸送事前情報書 (EMMD-5)

出典 : MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

EMMD-6



MYANMA TIMBER ENTERPRISE
EXPORT MARKETING & MILLING DEPARTMENT
TEAK ROUND LOG UNIT
REFERENCE FOR PARCEL TRANSFER


輸送荷物参照

No. 48/17-18(EX-)
Date. 1.6.2017

We agreed that the under mentioned lots & specification lists are already transferred to the respective buyer in accordance with the sale contract between the seller (MTE) & buyer.

(a) Sale contract	DGL-076/16-17(EX-IR)
(b) Lot No.	TP(B)-33
(c) Species	GREEN TEAK
(d) Quality	SG-6
(e) Logs	37
(f) Tonnage	24.572
(g) Paint Mark	BLACK mx-4
(h) Specification No.	TRLU-111/17-18

Transferred by---

Signature 

Name **U AUNG ZAW MOE THAYAY (H3)**

Designation **ASSISTANT GENERAL MANAGER
TEAK ROUND LOG UNIT**

Teak Round Log Unit

Accepted by---

Signature -----

Name -----


Designation -----

Company -----

図 3.37 (10) 輸送荷物参照 (EMMD-6)

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

EMMD-7



THE REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR
MINISTRY OF NATURAL RESOURCES AND ENVIRONMENTAL CONSERVATION
MYANMA TIMBER ENTERPRISE

To:
Mr. Jeet Singh
General Manager
SK Wood Industries Limited.

要件： 購入確認書

MTE letter No. /Paya/PCL(2017-18)
Issued Date: 31-5-2017.

Subject:Purchase confirmation letter

Dear valued customer,

This letter is in reference to the **sale contract No. DGL-076/2016-17(SOT)(EX-IR)** and **Invoice No. EB-56/GT/MR/2017-2018(30-5-2017)** confirmed between you and Myanmar Timber Enterprise. We are pleased to write to you and inform you that we send the extended recommendation for your purchase of our timber sold in Tender sale of 2017 March, Yangon.

We has acknowledged to confirm about our timber of the following item that you have purchased:

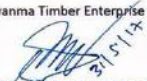
1) Lot No	TP(B) - 33
2) Specification No	TRLU - 111/2017-2018
3) Pieces of Logs / Tonnage	37 PCS/ 24.572 HT
4) Harvesting Right	Extraction Department, Myanmar Timber Enterprise.
5) Origin of Harvesting Area	West Mawlaik(F*), Sagaing Division, Myanmar.
6) Harvesting Year	2014-2015 Fiscal Year

This background history of our timber can be checked in our sale documents provided to you in detail.

As you know, Myanmar Timber Enterprise, which is State Economic Enterprise, is the solely organization for the harvesting right to State owned forests. In accordance with the legal harvesting right within Forest Department's Annual Allowable Cut (AAC) limit, Myanmar Timber Enterprise harvests the timber in line with the MTE's rules & practices, apply properly relevant governances such as Environmental & Social Impact Assessment (EIA & SIA), transports accordingly and legally to Delivery Depots, and sell in Tender Systems transparently to our customers around the world. This provides assurance that timber and timber products produced and sold by Myanmar Timber Enterprise come from legal sources and are in full compliance with relevant Myanmar laws & regulations and governances along the process from the stump to the delivery. We request you to kindly indicate your acceptance to the letter by authorized signing below and sending us the copy because the above letter will be issued only one time for the one purchase. We thank you for your trust and consideration in our services.

Yours truly,

For Myanmar Timber Enterprise



(SOE YEE THAYAY/4040038)
ASST. GENERAL MANAGER
EXPORT BILLS SECTION
MYANMA TIMBER ENTERPRISE

Print only one page for official use**

****Please authorized signing & Stamp HERE

For Buyer

図 3.38 (11) 購入確認書 (EMMD-7)

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

3.4.3 木材・木材製品を輸入・輸出する際の法令・証明システムの概要及び事例

(1) 木材・木材製品を輸入・輸出する際の法令

木材の輸出入に関連する法令は、森林法のほか、貿易を管理する輸出入法、ミャンマー税関法、植物検疫法がある。さらに輸出入を行う企業等の登録に関する規定を定めたミャンマー会社法も関連している。なお、木材の輸出について、ミャンマーは 2014 年の原木輸出の禁止等を含めた様々な通達を定めている。表 3.13 に木材の輸出入に関する法令を整理した。

表 3.13 木材の輸出入に関連する法令

法令	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林法 ● 輸出入法 (2012) ● ミャンマー税関法 ● 植物検疫法 ● ミャンマー会社法
通達	<ul style="list-style-type: none"> ● 天然資源環境保全省原木輸出禁止 (2014) ● 天然資源環境保全省レター4/1/04/D1/1873 (2016) ヤンゴンの指定された 3 つの港からの木材輸出 ● 天然資源環境保全省通達レターNo.1765/2016 押収木材について (2016) ● 天然資源環境保全省通達レターNo.61/2017 土地利用転換木材 (2017) ● 天然資源環境保全省通達レターNo.259/2017 ミャンマーチャットで販売された木材製品の海外輸出 (2017) ● 天然資源環境保全省通達レターNo.80/2019 植林地から搬出された原木輸出の許可 (2019)

出典：聞き取り調査結果を基に調査団作成

(2) 木材・木材製品を輸入・輸出する際の証明システムの概要及び事例

ミャンマーの木材伐採から輸出までの手続きのうち、輸出手続きを図 3.39 に赤色の枠で示した。また、輸出に関連する手続きについて、表 3.14 に概要を整理した。

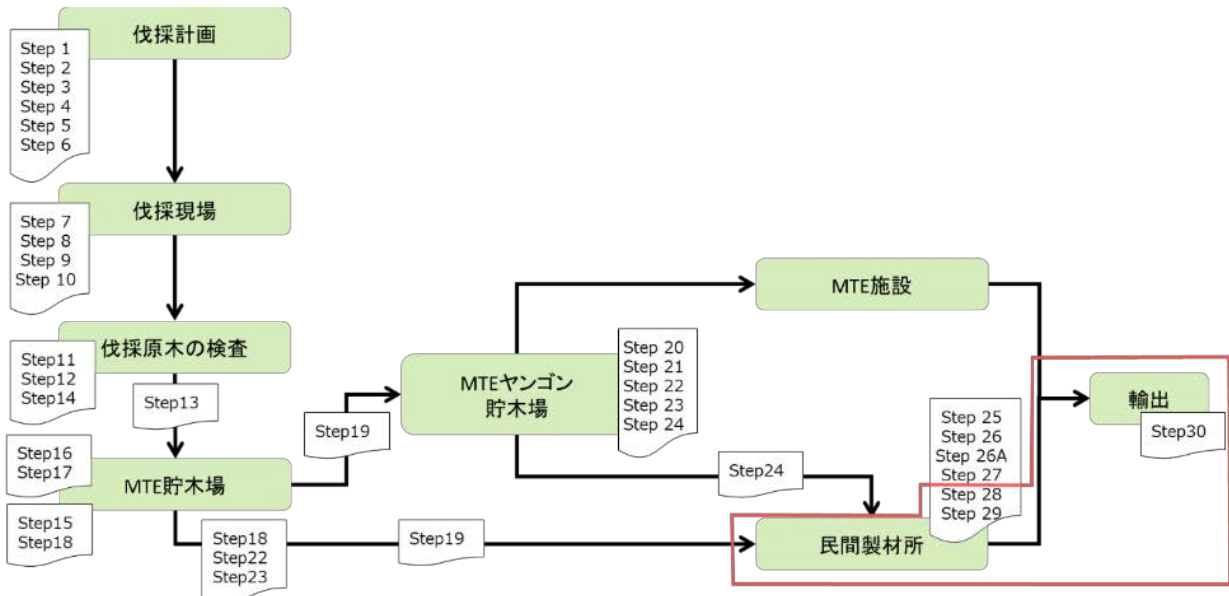


図 3.39 ミャンマーの木材伐採から輸出までの流れと輸出に関連する手続き(赤枠内)

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

表 3.14 輸出に関連する手続きの詳細

Step	活動	関連書類・記録	実施責任者
民間製材所	28	木材製品輸出の承認	原木購入者 商業省商業消費者局 財務計画省税関局
	29	コンテナへの積み込み	原木購入者 森林局輸出用加工木材認証チーム (TCFPE)
輸出	30	ミャンマー港通関手続き	ヤンゴン森林事務所職員 森林局輸出用加工木材認証チーム (TCFPE) 港管理事務所

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³



写真 3.1 民間製材所での森林局職員の立会いによる木材のコンテナへの積み込み(ステップ 29)

写真提供：Myanmar Technologies Industry Co.Ltd

既述 (3.4.2 (2) 表 3.12) の天然資源環境保全省の「ミャンマーの合法木材を示すための書類の発行について (Forest) 4 (1) /04 (Ka) /2026/2020」で、木材の合法性を証明するために必要とされた 14 種類の書類のうちの 2 種類が、輸出の手続きの段階 (Step28) において発行される輸出ライセンスと輸出申告書である。

また、合法性を示す 14 種類の書類の 1 つである原産地証明書は、木材の伐採から輸出までの手続きの中では発行されない。ただし、木材の原産地証明書は、輸入国側が求めるケースが多いため、ミャンマーから木材を輸出する民間企業は、輸出手続き後に原産地証明書 (FormAJ) の発行を商業省の貿易局に申請し、取引先に送っている。

図 3.40 及び図 3.41 に、輸出ライセンスと輸出申告書の事例を、図 3.42 に原産地証明書の事例を示す。

ထုတ်ကုန်(၀) 14818 Original

DEPARTMENT OF TRADE
ကုန်သွယ်ရေးဝန်ကြီးဌာန

EXPORT LICENCE
ထွက်ကုန်လိုင်စင်

APPENDIX 4b

1. Exporter (Address): National Wood Industry Ltd., No.113, Padewun U Shwe Bin Road, East Dagon Industrial Zone, Dagon Myothit (East) T/S, Yangon Region, Myanmar

2. Registration No/ Valid Date: 12726 (31/12/2020)

3. License No.: ELF 16.17.1291 20/09/2016

4. Consignee (Name & Address): Shwe Sett Kyar, No.44, 1st Floor, Bogalayay St/Botathuang T/S

5. Last Date of Export: 19/12/2016

6. Method of Export: Normal TT

7. Place/Port of Discharge: Long Beach, California (USA)

8. Country Whence Consigned: MYANMAR

9. Country of Origin: MYANMAR

10. Country of Final Destination: U.S.A

11. Mode of Transport: Sea

12. Value USD: 60451.03

13. Incoterms: FOB

14. HS Code: 0902

15. Description of Goods: Teak Conversion R/S

No	Unit	Unit Price	Quantity	Price
1.	M3	23.5218	2570	60451.03
Total Value				60451.03

21. Remarks: Assed in full, Bal Nil

23. Conditions: EICC (174/2016)

24. Revenue Stamp: ကုန်ပစ္စည်းကိုင်ဆောင်ရေးအဖွဲ့အစည်းမှ ထုတ်ပြန်သော အထောက်အကူပြုချက်

25. EXPORT LICENCE issued subject to conditions stated hereon

图 3.40 (13) 輸出ライセンス

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

CASH-B 0770162

CUSTOMS DEPARTMENT EXPORT DECLARATION CUSDEC 2

1. Consignee (Name & Address): NATIONAL WOOD INDUSTRY LTD., NO.113, PADEWUN U SHWE BIN ROAD, EAST DAGON INDUSTRIAL ZONE, DAGON MYOHTH EAST T/S, YANGON MYANMAR.

2. Consignee (Name & Address): SHWE SETT KYAR, NO.44, 1ST FLOOR, BOGALAYAY ST/BOTATHUANG T/S

3. Authorized Agent (Name & Address): SHWE SETT KYAR, NO.44, 1ST FLOOR, BOGALAYAY ST/BOTATHUANG T/S

4. Mode of Transport: Sea

5. Date of Shipment: 19/12/2016

6. Name of Consignee & C/R No.: SHWE SETT KYAR

7. Place/Port of Discharge: Long Beach, California (USA)

8. Description of Goods: TEAK CONVERSION R/S

No	Weight (kg)	Quantity	Unit Value (Ks.)	Total Value (Ks.)
1.	23.5218	2570	23.5218	60451.03
TOTAL: 1474 PCS, 16.6136 CBM, 23.5218 M3, USD: 60451.03				

21. Remarks: Assed in full, Bal Nil

23. Conditions: EICC (174/2016)

24. Revenue Stamp: ကုန်ပစ္စည်းကိုင်ဆောင်ရေးအဖွဲ့အစည်းမှ ထုတ်ပြန်သော အထောက်အကူပြုချက်

25. EXPORT DECLARATION issued subject to conditions stated hereon

图 3.41 (14) 輸出申告書

出典：MYANMAR TIMBER CHAIN OF CUSTODY PROCESS DOCUMENTS AND ACTORS³³

Original


1. Exporter (Country) [Redacted] (Country) [Redacted] Pina Hsing Street, City of Industry Zone (2), Yangon Region Myanmar 輸出者		Reference No. eYGNAJ-00190/2020 THE AGREEMENT ON COMPREHENSIVE ECONOMIC PARTNERSHIP AMONG MEMBER STATES OF THE ASSOCIATION OF SOUTHEAST ASIAN NATIONS AND JAPAN (AJCEP AGREEMENT) CERTIFICATE OF ORIGIN FORM AJ 原産地証明書 Issued in MYANMAR 様式 AJ (Country) See Notes Overleaf			
2. Importer [Redacted] 輸入者		3. Means of transport and route (as far as known) Shipment Date 09.04.2020 Vessel's name/Aircraft [Redacted] Port of Discharge 輸送方法			
4. For Official Use <input type="checkbox"/> Preferential Treatment Given Under AJCEP Agreement <input type="checkbox"/> Preferential Treatment Not Given (Please state reasons) Signature of Authorised Signatory of the Issuing Country		5. Item number 6. Mark and number of goods 7. Description of goods including quantity where number of the Importing Party 8. Origin 9. Total weight or number and value 10. Certificate number and date			
1	1 x 20' PART OF GCXU 2284444	TEAK FINGER JOINT T&G TOTAL : 1339 PCS : 3.2899 M3 : 2.3237 TON (CBT) HS CODE : 4407296900	WO	[Redacted]	[Redacted]
11. Declaration by exporter 上記の詳細と記述が正しいことを宣言します。よって、全ての商品は以下で生産されました。 MYANMAR (country) and that they comply with the requirements of the Agreement for these goods in the AJCEP Agreement for the goods reported to [Redacted] Importing Director Yangon, 24.04.2020 Place and date, name, signature and company of authorised signatory		12. Certification 輸出者の申告が正しいことを、ここに証明します。  LAY LAY SU ASSISTANT DIRECTOR DEPARTMENT OF TRADE MINISTRY OF COMMERCE YANGON, MYANMAR 24.04.2020 Place and date, signature and stamp of certifying authority			
13. Third Country Invoicing		Back-to-Back CO		Issued Retroactively	

図 3.42 (12)原産地証明書

資料提供：ミャンマーチーク販売株式会社

3.5 木材生産・流通状況

3.5.1 調査対象国の木材生産・流通の特徴

(1) 木材生産の変遷と現在の特徴

「イギリス植民地期ビルマにおける林業政策の展開」³⁵によると、ミャンマーでは、森林は国家や王朝の財政に寄与する重要な資源として、19世紀以前から森林経営が営まれていた。19世紀に入るとミャンマーはイギリスの植民地となり、植民地政府は伐採可能木の直径を定めて民間に伐採権を発給したが、操業は無監督状態にあったため森林の乱伐が進んだ。

こうした状況の中、1856年にドイツ人植物学者の Dr. Dietrich Brandis がペグー地方の森林長官として着任した。Dr.Brandis は、持続的な収穫を図るための年間許容伐採量 (AAC) に基づいた施業計画等の整備、人工造林の実験等に注力し、ミャンマー式択伐法 (Myanmar Selection System : MSS) と呼ばれる天然林管理システムやタウンヤ式造林と呼ばれるアグロフォレストリーの原型を構築した。

ミャンマー式択伐法 (MSS) は、現在まで継続されているが、「天然チークのためのミャンマー式択伐方法の見直し」³⁶によると、実際には、脆弱なガバナンスや資源不足等を背景に、年間許容伐採量を越えた伐採が行われてきたとしている。「ミャンマーの森林 2020」²⁵では、ミャンマーはブラジル、インドネシアに次いで森林減少の深刻な国であるとしており、その要因の1つには木材の過伐採が挙げられている。ミャンマーの森林被覆率は、1975年では60.8%³⁷であったが、2015年には42.9%²⁴まで減少した。図 3.43 にミャンマーの森林被覆率の推移を示す。

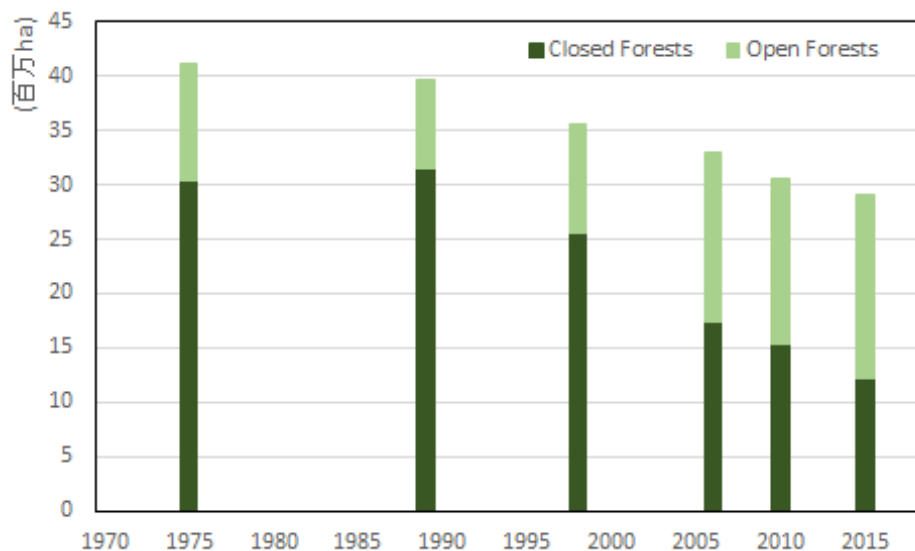


図 3.43 ミャンマーの森林被覆率の変化

出典：FAO 報告書 (2015)³⁷及びミャンマーFRL レポート²³を基に調査団作成

³⁵ イギリス植民地期ビルマにおける林業政策の展開 (谷,1994)

<https://core.ac.uk/download/pdf/56641764.pdf>

³⁶ Reviewing Myanmar Selection System for the Natural Teak-Bearing Forests (Tin 他、2010)

https://www.iistage.jst.go.jp/article/jfsc/121/0/121_0_385/pdf-char/en

³⁷ Global Forest Resources Assessment 2015 Country Report Myanmar (FAO,2014)

<http://www.fao.org/3/a-az283e.pdf>

このような森林の減少・劣化の要因は、森林の過伐採のほかにも、土地利用の転換や違法伐採等が指摘されている²⁴。こうした状況を受けて、ミャンマー政府は以下のとおり木材生産・輸出を制限することで、森林減少・劣化の対策を講じている。

- ✓ 天然林から生産された原木の輸出禁止
- ✓ 押収された違法伐採木材の輸出禁止
- ✓ 持続可能に生産された木材以外の木材（土地利用転換によって発生した木材等）の輸出禁止
- ✓ 1年間の全国の森林伐採の禁止（2016-2017年）
- ✓ バゴヨマ地方 150万 ha における 10年間の森林伐採の停止（2016-2025年）
- ✓ 年間許容伐採量（AAC）に対する実際の木材伐採量について、チークは AAC の 55%以下、その他の広葉樹は AAC の 33%まで抑制

（2）流通状況

現在、ミャンマーには恒久林でのコンセッション、植林地、コミュニティフォレスト、押収された違法伐採木材、土地利用の転換、在庫木材、輸入木材の 7つの木材供給源が存在する。このうち、押収された違法伐採木材と土地利用転換によって生じた木材の輸出は禁止されている。また、植林地で生産された原木を除いて、原木の輸出は禁止されている。このため、輸出用木材の大部分は、ミャンマー国内の国営もしくは民営の製材所や木材工場で加工されて輸出される。なお、ミャンマーから輸出される木材（原木、製材、木材加工品等）は、ヤンゴンにある 3つの港のいずれから輸出されることが決められており、陸路での輸出は認められていない。ミャンマーにおける木材の供給フローを図 3.44 に示す。

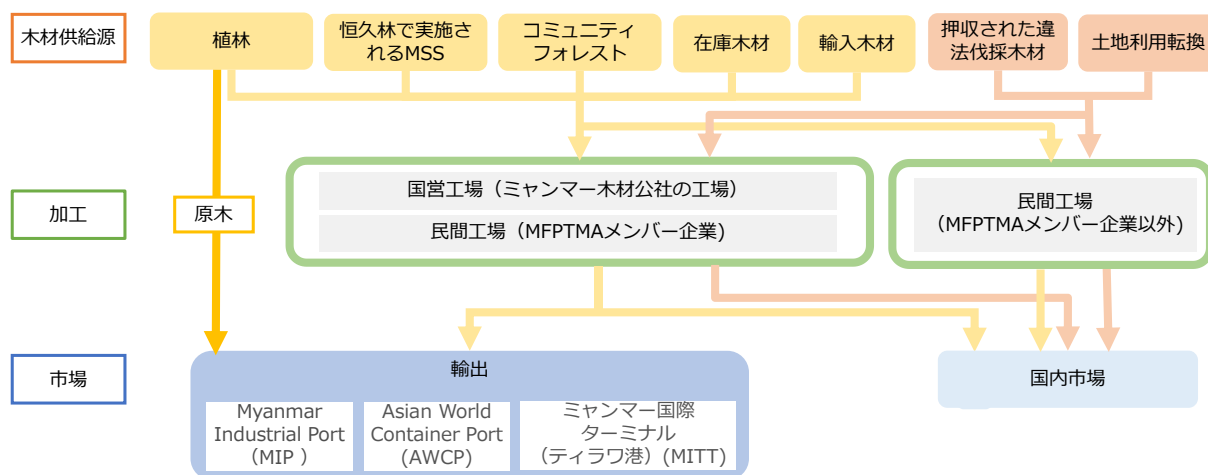


図 3.44 ミャンマーの木材流通フロー

出典：聞き取り調査結果を基に調査団作成

なお、植林及びコミュニティフォレストで伐採された木材の輸出実績は、2020年12月時点では、まだない。このため、2020年12月時点でミャンマーから輸出されている木材は、恒久林においてミャンマー式択伐法（MSS）によって伐採・搬出された木材、在庫木材、輸入木材である。

3.5.2 森林認証システムの導入状況

(1) MTLAS (Myanmar Timber Legality Assurance System: ミャンマー木材合法性証明システム)

2013年、ミャンマー森林認証委員会は、2009年に採択された東南アジア諸国連合（ASEAN）の木材合法性に関する基準と指標（C&I）に基づいて、ミャンマーの合法木材の6つ原則・20の基準・35の指標を構築した。さらに、この原則・基準・指標に基づいて、第三者認証機関によって、木材の伐採から輸出までを監視するミャンマー木材合法性証明システム（MTLAS）が開発された。第三者認証機関によるMTLASの認証取得は、法的な義務はないが、違法伐採木材等の混入リスクを緩和する措置として、ミャンマー森林認証委員会によって取得が推奨されている。

1) 合法木材の定義

MTLASでは、合法木材の定義を「許可された地域から、認可された機関によって搬出された木材で、ミャンマーの林業、木材産業及び貿易に関連する法規制と手順に従って搬出、輸送、加工、輸出された木材及び木材製品」としている。

2) 対象製品

MTLASが適用される製品は、原木、製材、単板、合板、家具の5つに分類される。

3) 原則と基準

MTLASは、伐採権、森林管理、法定費用、他の利用者の権利、工場運営、貿易と税関の6つの原則で構成されている。MTLASの6つの原則について、その基準と指標、管轄等の概要を表3.15から表3.20に整理した。

表 3.15 MLTAS 原則 1 伐採権

基準	指標	管轄	管理手続き	アウトプット	検証
1.1. 森林局の承認	<ul style="list-style-type: none"> ●森林法 17 条, 18 条 (a) ●国家木材委員会法 (1950) 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局 ●森林局地区事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所からの承認 ●伐採許可の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ●収穫の許可 	<ul style="list-style-type: none"> ●許可の有効性
1.2. 環境マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ●環境保全法 ●MTE 木材搬出マニュアル ●MTE DIs 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に負荷を与えないよう、指示された方法で森林伐採が行われたことを確認 ●MTE による伐採完了報告書 ●森林局による事前伐採評価書 	<ul style="list-style-type: none"> ●伐採完了報告書 	<ul style="list-style-type: none"> ●伐採完了報告書の記録
1.3. 計画準備	<ul style="list-style-type: none"> ●森林法 10 条 (b) ●森林局 DIs 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所 ●MTE 搬出部 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局による、森林管理計画スケジュールに基づいた、伐採対象木を選択するエリアの特定。 ●MTE による伐採エリアの調査と、伐採計画の策定。 ●森林局地区事務所による伐採作業に使用するハンマーの登録。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハンマー登録 ●伐採対象木のマーキング ●伐採計画 	<ul style="list-style-type: none"> ●伐採計画の承認 ●伐採対象木のマーキング指示

出典：ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト³¹

表 3.16 MTLAS 原則 2 森林管理

基準	指標	管轄	管理手続き	アウトプット	検証
2.1. エリアの区分け	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局 DIs 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ●境界線の清掃 ●境界画定と境界杭の補修 ●境界沿いの樹木のマーキング 	<ul style="list-style-type: none"> ●伐採地の明確な区分 	<ul style="list-style-type: none"> ●地図と地面への境界線の明記
2.2. 伐採前インベントリ (伐採対象木の選択)	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局 DIs 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ●胸高幹周が 4.6 フィート以上に達した樹木のマーキング ●チーク： 巻枯らし木と未処理伐採木の選定とマーキング ●広葉樹種： ●樹種別の伐採許可胸高幹周に応じた樹木の選定とマーキング 	<ul style="list-style-type: none"> ●マーキングノートとマーキングされた樹木の位置を示す地図が添付された選定対象木マーキング報告書 	<ul style="list-style-type: none"> ●マーキングノートとマーキングされた樹木の位置を示す地図が添付された選定対象木マーキング報告書
2.3. 伐採対象木へのマーキング	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局 DIs 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ●伐採後に切り株として残る木の根元への、ハンマーマーキング ●伐採木の胸高以下部分へのハンマーマーキング ●伐採されずに残る樹木の測定と記録 	<ul style="list-style-type: none"> ●樹木の伐採、番号付け、記録 	<ul style="list-style-type: none"> ●異なるハンマーでマークされた樹木 (チークとチーク以外の広葉樹)
2.4. 木材生産の管理	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局 DIs ●MTE 木材搬出マニュアル 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所 ●MTE 	<ul style="list-style-type: none"> ●密林伐採台帳 (MTE 管理様式) によって、原木の数量と材積を記録 ●切り株と原木に MTE のハンマーマーキング 	<ul style="list-style-type: none"> ●MTE ハンマーマーキングと木材伐採管理フォーム 	<ul style="list-style-type: none"> ●測定地点で記録されたアウトプットの記録

	<ul style="list-style-type: none"> ●MTE 搬出職員への標準指示 (SOS) 		<ul style="list-style-type: none"> ●収入評価のための森林局と MTE による原木の共同測定、原木へのシリアルナンバーと収入マーク付け。 ●収穫作業のモニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局と MTE による共同測定の記録 ●伐採モニタリングレポート 	
2.5. 丸太の輸送	<ul style="list-style-type: none"> ●森林法 23 条 ●森林局 DIs ● MTE 木材搬出マニュアル ●MTE 搬出職員への標準指示 (SOS) 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所 ●MTE 	<p>伐採地から測定地点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●原木について林内の短距離を引きずって移動 ●森林局と MTE の木材伐採管理様式のハンマーマークによる測定地点での原木検査、 <p>測定地点から納品地点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●荷送する原木の詳細を記載したトラック伝票を添付した原木の移動 ●森林外の森林局、MTE のチェックポイントでの原木の検査 <p>測定地点から筏、船、鉄道輸送を通じた製材所、ターミナル駅：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●荷送する原木の詳細を記載したトラック伝票を添付した原木の移動 ●主要ルート沿いの森林局重要ポイントでの原木の検査 	<ul style="list-style-type: none"> ●トラック伝票とリムーバルパス、工場と納品地点の原木台帳 	<ul style="list-style-type: none"> ●測定点及び関係する納品地点、工場で記録されたアウトプットの記録
2.6. 労働者の安全と健康	<ul style="list-style-type: none"> ● MTE 木材搬出マニュアル ●労働安全衛生法 ●労働者災害補償法 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所 ●MTE 	<ul style="list-style-type: none"> ●作業員の安全教育の記録 ●作業員に提供される安全装備の適切性 ●事故が発生した場合の作業員の安全を確保するための十分な事前準備 ●作業員に必要な医薬品の提供とベースキャンプでの医療スタッフの配置 ●作業員のための保険 	<ul style="list-style-type: none"> ●作業指示 ●研修 ●保険と事故の記録 	<ul style="list-style-type: none"> ●アウトプットに記載されている記録

出典：ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト³¹

表 3.17 原則 3.法定費用

基準	指標	管轄	管理手続き	アウトプット	検証
3.1. ロイヤリティと手数料	●森林法 21 条(c)	●森林局地区事務所 ●MTE	<ul style="list-style-type: none"> ●測定地点で作成される MTE 伐採ノート財務用 (様式 F) ●支払い完了を示すトラック輸送伝票、リムーバルパス及び原木への税込ハンマー刻印 ●森林局と MTE が作成した、MTE によるロイヤリティ決済の申告書を受理。 	●原木への税込マークの刻印	●測定地点での記録の要約、測定地点での原木への税込マークの刻印、MTE の納税を示す書類

表 3.18 原則 4.他の利用者の権利

基準	指標	管轄	管理手続き	アウトプット	検証
4.1. 地域社会の利用権	●森林法 15 条、 17 条	●森林局地区事務所	●保全林と保護公有林でのコミュニティフォレスト 設立許可 ●国内利用のための林産物の無許可伐採 地域コミュニティのために保全林に設定された除外 エリア	●森林局地区事務所と 現地事務所の許可	●地域社会に与えら れた権利・特権に関 する書類

出典：ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト³¹

表 3.19 原則 5.工場運営

基準	指標	管轄	管理手続き	アウトプット	検証
5.1. 木材加工処理の管理 (MTE)	●ミャンマー木 材公社搬出部門 指示 (DIs)	●MTE	●入荷原木の記録 ●得られた角材の記録と、付加価値加工の様々な段階 での使用 ●出荷製品の記録 ●様々なレベルの MTE スタッフによる工場運営の 検査とモニタリング	●原木の入荷量と加工 製品の記録及びそのバ ランス	●製品の記録とバラ ンス
5.2. 工場ライセンスの発行 (製材所・木質工場) (民間)	●森林法 30 条	●森林局地区事務所	●必要書類を揃えた森林局へのライセンス申請 ●ライセンス条件の遵守 ●必要費用の支払い	●工場ライセンス	有効なミルライセ ンス
5.3. 木材加工処理の管理 (民間)	●森林法 31 条	●森林局地区事務所	●入荷原木または角材の記録 ●森林局からの製材許可 ●得られた角材の記録と、付加価値加工の様々な段階 での使用 ●出荷製品 (角材、木材製品) の記録 ●森林局による記録と原木とその他の製品のバラン スの点検	●原木の入荷量と加工 製品の記録及びそのバ ランス	●製品と加工製品の バランス
5.4. 労働者の安全と健康	●労働安全衛生 法 ●労働者災害補 償法	●労働局 ●MTE ●民間工場のオーナ ー	●労働者の安全教育の記録 ●労働者に提供される安全装備の適切性と職場での 意識啓発のための説明資料もしくはポスター ●火災等の事故が発生した場合の労働者の安全を確 保するための十分な事前措置 ●労働者の保険	●研修 ●保険と事故の記録	●業務指示、研修、保 険と事故の記録な ど

ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト³¹

表 3.20 原則 6.貿易と税関

基準	指標	管轄	管理手続き	アウトプット	検証
6.1 輸出規制 (MTE)	<ul style="list-style-type: none"> ●ミャンマー税関法 ●輸出入法 (2012) 	<ul style="list-style-type: none"> ●税関局 ●MTE 	<ul style="list-style-type: none"> ●原木や加工製品をサイズや品質ごとのロットに仕分け。 ●木材代金を買い手が支払済みであるか確認。 ●輸出申告書及び添付書類の入手。 ●販売商品は、出荷に必要な書類 (トラック伝票等) を添付してトラックで船まで輸送。 	<ul style="list-style-type: none"> ●輸出に必要な MTE と税関の書類 	<ul style="list-style-type: none"> ●輸出のための書類の有効性
6.2. 会社登記 (民間)	<ul style="list-style-type: none"> ●ミャンマー会社法 	<ul style="list-style-type: none"> ●財務計画省 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミャンマー会社法に基づいた企業の加工・輸出のための登録の確認。 ●登録料の支払い。 ●登録ガイドラインが求めるその他の条件 	<ul style="list-style-type: none"> ●登記証明書 	<ul style="list-style-type: none"> ●登記証明書の有効性
6.3. 輸出規制 (民間)	<ul style="list-style-type: none"> ●ミャンマー税関法 ●輸出入法 	<ul style="list-style-type: none"> ●商業省貿易局 ●税関局 	<ul style="list-style-type: none"> ●輸出ライセンス申請者が登録輸出業者であることを確認 ●輸出木材が森林局による合法性承認を受けた木材であることを確認。 ●輸出ライセンスの発行 ●輸出申告書と添付書類の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ●輸出ライセンスと輸出申告書 	<ul style="list-style-type: none"> ●輸出ライセンスの有効性
6.4. 輸入規制	<ul style="list-style-type: none"> ●ミャンマー税関法 ●輸出入法 ●植物検疫法 	<ul style="list-style-type: none"> ●財務計画省 ●商業省 	<p>原木や大きな角材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ミャンマー会社法に基づいて登記された会社。 ●輸入者による原産地証明書の提出。 ●森林局による法的陸揚げ地での木材の荷送検査 ●輸入許可証と輸入申告書の提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ●輸入ライセンス 	<ul style="list-style-type: none"> ●輸入ライセンスの有効性
6.5. 輸出入木材の輸送	<ul style="list-style-type: none"> ●森林法 23 条 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林局地区事務所 	<p>輸出 (工場・倉庫から輸出港)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●MTE の必要書類と輸出ライセンス、民間企業の向けの森林局の承認済み木材・木材製品の移動。 <p>輸入 (輸入港から工場・倉庫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●輸入ライセンスと輸入申告書を添付した木材の移動。 	<ul style="list-style-type: none"> ●輸出入ライセンスと必要書類 (トラック伝票等) 	<ul style="list-style-type: none"> ●アウトプットで指定された書類の有効性

出典：ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト³¹

4) MTLAS の第三者認証

表 3.21 に 2020 年 12 月時点で登録されている MTLAS の認定第三者認証機関を示す。

表 3.21 MTLAS の認定第三者認証機関

認定済認証機関	Nature Watch Co.,Ltd.
	United Forestry Services Co.,Ltd.
	Double Helix Tracking Technologies

出典：ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト³¹

5) 認証

MTLAS は原則 1～4 が森林管理認証、原則 5～6 が荷送認証となっている。2017 年から 2020 年にかけて、大公アルベール 2 世モナコ財団の支援によって、ミャンマーにおける持続可能な森林管理を支援するプロジェクトを実施された。このプロジェクトの中で、MTLAS の試行プログラムが実施され、7 つの森林管理認証と 4 つの荷送認証が発行された。図 3.45 にそれぞれの認証の証明書の事例と、表 3.22 及び表 3.23 に認証取得の概要を示す。



図 3.45 MTLAS の認証書事例

出典：ミャンマー森林認証委員会ニュースレター第 4 号³⁸

³⁸ ミャンマー森林認証委員会ニュースレター第 4 号（ミャンマー森林認証委員会、2020）
<https://myanmarforestcertification.org/wp-content/uploads/2020/08/mfcc-newsletter-issue-4.pdf>

表 3.22 MTLAS の森林管理認証

森林管理認証番号	発行日	搬出機関	搬出年	樹種	認証機関
DX1470-ML (W) - FM	2019年 9月5日	Mawak (West) Mawlaik (A,B) and Tamu 搬出/搬送地区事務所	2014- 2015	チーク	Double Helix Tracking Technologies
DX1425-TG (S) -FM	2019年 7月31日	Taungoo (South) Phyuu Chaung 搬出/搬送 地区事務所	2012- 2013	チーク	Double Helix Tracking Technologies
DX1452-ML (W) - FM	2019年 9月17日	Mawlaik (West) Mawlaik (A,B) and Tamu 搬出/搬送地区事務所	2015- 2016	チーク	Double Helix Tracking Technologies
DX1463-TG (N) -FM	2019年 9月5日	Taungoo (North) Swa (2) 搬出/搬送地区事 務所	2015- 2016	チーク	Double Helix Tracking Technologies
DX1544-GG-FM	2020年 5月8日	Gangaw Myittar/Kyaw Tazan 搬 出/搬送地区事務所	2015- 2016	チーク	Double Helix Tracking Technologies
DX-1544-KLY-FM	2020年 7月17日	Kalay, Hakha and Mindat 搬出/搬送地区事 務所	2014- 2015	チーク	Double Helix Tracking Technologies
DX-1612-THA-FM	2020年 9月10日	Thayet Extraction Agency, Min Don 搬出/搬 送地区事務所	2018- 2019	チーク	Double Helix Tracking Technologies

出典：ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト³¹

表 3.23 MTLAS の荷送認証

荷送認証 番号	発行日	森林管理認 証番号	実施事業体	製品	樹種	認証機関
DX1470- CO-001	2019年 9月11日	DX1470- ML (W) - FM	Jewellery Teak Timber Co.,LTD.	チーク角材、木 取り、ボード、 板材、単板	チー ク	Double Helix Tracking Technologies
DX1425- CO-001	2019年10 月17日	DX1425- TG (S) -FM	Concorde Industries Ltd.	チーク角材、木 取り、ボード、 板材、単板	チー ク	Double Helix Tracking Technologies
DX1452- CO-001	2020年 1月24日	DX1425- TG (S) -FM	Northwood Industry Ltd.	チーク角材、木 取り、ボード、 板材	チー ク	Double Helix Tracking Technologies
DX1452- CO-001	2020年 4月14日	DX1452- ML (W) - FM	Northwood Industry Ltd.	チーク角材、ポ ード、板材	チー ク	Double Helix Tracking Technologies

出典：ミャンマー森林認証委員会ウェブサイト³¹

(2) MFCS (Myanmar Forest Certification Scheme: ミャンマー森林認証制度)

ミャンマーでは、持続可能な森林管理のための森林認証制度として、ミャンマー森林認証制度 (Myanmar Forest Certification Scheme: MFCS) の構築に取り組んでいる。2020年、森林管理認証のためのミャンマー基準と指標 (2020) が、天然資源環境保全省大臣によって承認された。この基準と指標は、11の原則64の基準124の指標から構成され、天然林、植林、森林地以外の森林、コミュニティフォレスト及びゴム林の管理を対象としたミャンマーの森林管理規格である。また、MFCSは、PEFCとの相互承認を目指しており、2020年5月にMFCSの技術書類を提出し、現在はPEFCによる審査を受けている。

(3) FSC (Forest Stewardship Council : 森林管理協議会)

FSCによる公表データ¹⁴では、2021年2月時点で、FSC認証を受けている森林はないが、CoC認証は、製紙企業等20社が取得している。これらの企業は、輸入されたFM認証材(木質パルプ等)を取り扱うために、CoC認証を取得している。表3.24にCoC認証取得企業を整理した。

表 3.24 ミャンマーでCoC認証を取得している企業

認証番号	認証コード	期間	会社名
FSC-C012345	BV-COC-004751	2019-04-15～ 2024-04-14	Simon Labels (SML) Myanmar Manufacturing Co., Ltd.
FSC-C163015	TSUD-COC-001652	2021-01-05～ 2026-01-04	JINGYI PAPER PRODUCTS COMPANY LIMITED
FSC-C163696	DNV-COC-002153	2021-01-27～ 2026-01-26	LI HAO (MAYANMAR) PAPER PACKING COMPANY LIMITED
FSC-C163700	DNV-COC-002154	2021-01-27～ 2026-01-26	XING WANG DA CARTON BOX MANUFACURING CO.,LTD
FSC-C163771	SCS-COC-008252	2021-02-01～ 2026-01-31	BoxPak (Myanmar) Co., Ltd
FSC-C139698	CU-COC-856390	2018-01-19～ 2023-01-18	YANGON FIRST STATIONERY MANUFACTURING CO., LTD
FSC-C144996	TSUD-COC-001168	2018-11-30～ 2023-11-29	Thiri MyanKaung Company Limited
FSC-C145907	TSUD-COC-001202	2019-01-14～ 2024-01-13	SUNNY PAPER PACKING FACTORY
FSC-C145925	TSUD-COC-001205	2019-01-14～ 2024-01-13	JIA MEI CARTON PRODUCTS COMPANY LIMITED
FSC-C149493	TSUD-COC-001312	2019-06-24～ 2024-06-23	Union Printing & Packaging Co., Ltd
FSC-C155950	ESTS-COC-200032	2020-04-07～ 2025-04-06	MYANMAR MINGXINPACKING MATERIAL COMPANY LIMITED
FSC-C155952	ESTS-COC-200034	2020-04-10～ 2025-04-09	MYANMAR YES BOX CO., LTD.
FSC-C156016	ESTS-COC-200016	2020-04-07～ 2025-04-06	MYANMAR BAOLAIXIN LABEL SOLUTIONS COMPANY LIMITED
FSC-C156050	ESTS-COC-200035	2020-04-10～ 2025-04-09	DECO-LAND COMPANY LIMITED
FSC-C156131	ESTS-COC-200033	2020-04-10～ 2025-04-09	Fook Hing Paper Packing Limited
FSC-C156133	ESTS-COC-200036	2020-04-10～ 2025-04-09	HUA FEI CARTON BOX COMPANY LIMITED
FSC-C152889	ESTS-COC-190058	2019-11-12～ 2024-11-11	MYO MYINT MO OO CARTON BOX MANUFACTURING COMPANY LIMITED
FSC-C153217	TSUD-COC-001433	2019-11-21～ 2024-11-20	HONGJIE CO., LTD.
FSC-C160722	TSUD-COC-001605	2020-10-12～ 2025-10-11	ORIENT MAGIC HOUSE COMPANY LIMITED
FSC-C160728	TSUD-COC-001604	2020-10-12～ 2025-10-11	G-YUAN PACKAGING MATERIAL(MYANMAR)

出典：FSC ウェブサイト¹⁵

(4) PEFC (Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes : 森林認証制度承認プログラム)

PEFC による公表データ¹⁶では、現在ミャンマーでは PEFC の森林管理認証の取得実績はない。CoC 認証は 1 社 (National Wood Industry Ltd) が取得している。なお、ミャンマー森林認証委員会は PEFC メンバーとして登録されており、MFCS と PEFC の相互承認を目指した取り組みが進められている。ミャンマー森林認証委員会によると、2020 年 12 月時点で、PEFC は MFCS の分析のための、独立審査機関となるコンサルタンツの入札を進めている。図 3.46 に PEFC の相互承認のための手続きと、MFCS の進捗を示す。

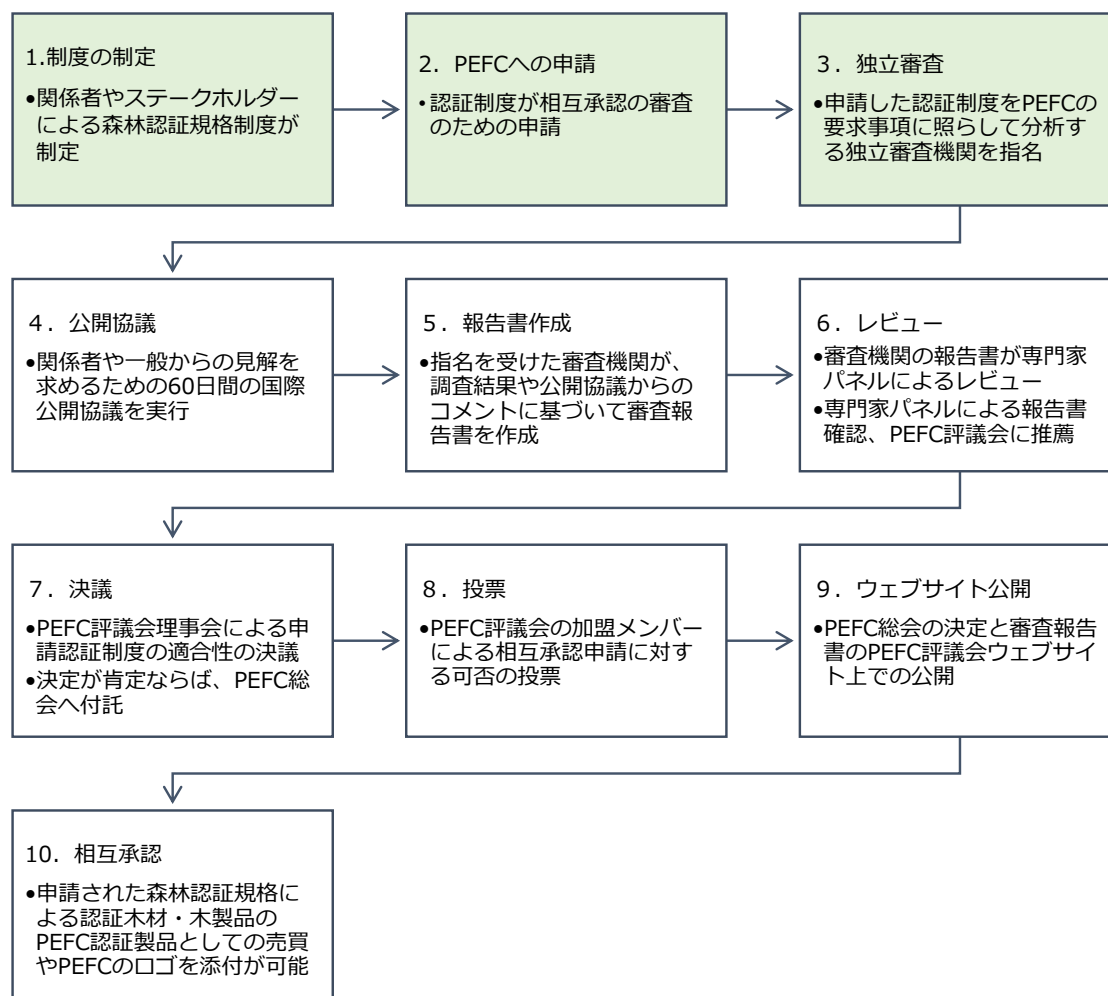


図 3.46 PEFC の相互承認手続きと MFCS の進捗 (緑色塗りつぶし箇所まで)

出典：SGEC/PEFC ジャパンウェブサイト³⁹および MFCC からの聞き取り結果より調査団作成

³⁹ <https://sgec-pefcj.jp/%E6%A3%AE%E6%9E%97%E8%AA%8D%E8%A8%BC%E5%88%B6%E5%BA%A6%E3%81%A8%E3%81%AF/%E3%82%88%E3%81%8F%E8%81%9E%E3%81%8B%E3%82%8C%E3%82%8B%E8%B3%AA%E5%95%8F/pefc-qanda/#kf07f4cc>

3.5.3 違法伐採に関連する関連情報

(1) 樹種リスク

ミャンマーは1997年6月13日に絶滅の恐れがある野生動物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約；CITES）に批准し、同年9月11日に発効した。事務局は天然資源環境保全省の森林局に設置されている。ミャンマーにはCITES種としてリストに掲載されている749の植物が分布しているが、このうち、木材取引の対象となるのは表3.25に示す種である。これらの種は国際取引を規制しないと絶滅のおそれのある種としてCITES付属書IIに掲載され、商業目的の取引では、輸出国政府の管理当局が発行する輸出許可及び原産地証明書の取得が規定されている。

表 3.25 ミャンマーに分布するCITES種

樹種名	学名
マラッカジンコウ	<i>Aquilaria malaccensis</i>
ローズウッド類（インディアンローズウッド等）	<i>Dalbergia</i> spp.
ヒマラヤイチイ	<i>Taxus wallichiana</i>
インドジャボク	<i>Rauvolfia serpentina</i>

出典：CITES チェックリスト¹⁷（CITES、2020年12月アクセス）

(2) 伐採国・地域リスク

1) 違法伐採推定割合

森林局によると、2019年から2020年の1年間で、ミャンマー木材公社によって合法的に伐採された木材は287,733トン、これに対して森林局が押収した違法伐採木材は36,542トンだった。このため、合法木材と押収違法伐採木材の比率は9:1程度である。ただし、違法伐採の摘発率が分からないため、実際の違法伐採量の推定は難しいとしている。

2) ガバナンス

国家のガバナンス状況は、違法伐採リスクを評価する上での1つの指標となる。違法伐採が横行している国や地域は、行政統治レベルが低く、汚職腐敗が多くなる。また、武力紛争等も、違法伐採が横行する要因となる。ミャンマーのガバナンス状況の評価を表3.26に整理した。

表 3.26 ミャンマーのガバナンス評価状況

備考	スコア	順位	データ年	備考
腐敗認識指数（Corruption Perceptions Index：CPI）	29pts	130位 /198カ国	2019	スコアが低いほど、政策や法制度の実効性の度合いも低い。
世界ガバナンス指標（WGI）政治腐敗抑制制度	-0.59pts	146位 /209カ国	2018	小～大規模の汚職、高級官僚による国家利権の収奪等、公権力がどの程度私腹を肥やすのに使われているか、-2.5pts～+2.5ptsで評価、点数が高い方が汚職が少ない
世界ガバナンス指標（WGI）政府機能有効性	-1.07pts	183位 /209カ国	2018	公共サービス・公務員の質、政策策定・実行の質等より、-2.5ptsから+2.5ptsで政府機能の有効性を評価
世界ガバナンス指標（WGI）法治度	-1.03pts	177位 /209カ国	2018	当局者の信頼度、社会のルール順状況を、特に契約履行、財産権、司法等の質及び暴力・犯罪の観点から-2.5ptsから+2.5ptsで評価

出典：Transparency International ウェブサイト¹⁸、World Government Indicators ウェブサイト¹⁹

3) 違法伐採に関する報告

森林局によると、ミャンマーにおける違法伐採の事例は様々である。代表的な事例としては、森林地域のコミュニティによる違法伐採が挙げられた。コミュニティの住民が、定職を持っておらず、生活のための木材や林産品の利用や、現金収入を得るために違法伐採に依存している。また、別の事例としては、隣国（特に中国）向けに、ビジネスとして違法な伐採を行って販売しているケースが指摘された。違法伐採と違法伐採木材の輸送は、特に中国とバングラディッシュの国境地域を中心として、アクセスの悪い森林や反政府組織の活動地帯で乾季に行われている。ミャンマーでは陸路の木材輸出は禁止されているが、こうした違法伐採木材は陸路で隣国に流出していることが多いとのことである。

なお、森林局は現地の警察やコミュニティと連携し、違法伐採の防止や摘発を行っている。森林局のウェブサイトでは、違法伐採として取り締まられた事例を全てニュースとして報告している。



写真 3.2 森林局のウェブサイトでは報告された違法伐採の摘発事例

出典：森林局ウェブサイト⁴⁰（森林局、2021年1月アクセス）

ミャンマーの違法伐採に関連する調査や報告は、国際 NGO 等からも報告されている。環境調査エージェンシーは、2019年の報告書で⁴¹、ミャンマーの木材貿易と汚職の関係を指摘している。

4) 2021年2月1日に発生したクーデターの影響

ミャンマーでは、本調査期間中の2021年2月1日に、ミャンマー国軍による軍事クーデターが発生している。クーデター後、天然資源環境保全省や森林局、ミャンマー木材公社等のウェブサイトは一時的にアクセスが出来なくなったが、2021年3月時点ではアクセスが可能となっている。森林局のウェブサイトでは2月以降の違法伐採の摘発等の活動報告が更新され、ミャンマー木材公社は2月以降の電子入札等の案内が掲載されている。

政治の混乱は、ガバナンスの低下や、違法伐採の抑止力の低下に繋がるリスクがある。また、これまでミャンマーが整備してきた、木材の伐採、加工、流通に係る法制度等が、今後どのように、取り扱われるのか、留意が必要である。

⁴⁰ 森林局ウェブサイト

<https://www.forestdepartment.gov.mm/>

⁴¹ Crime and corruption of Myanmar's illegal teak trade goes to the heart of Government (Environmental Investigation Agency (EIA), 2019)

<https://eia-international.org/wp-content/uploads/EIA-report-State-of-Corruption.pdf>